

第2章 市民（18歳以上）調査結果

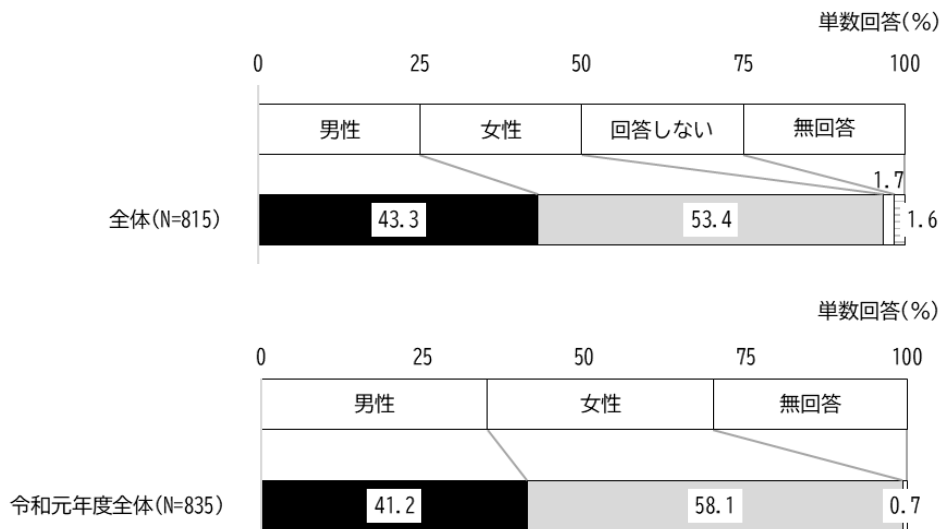
【調査名】誰もが暮らしやすいまちづくりのための福祉に関するアンケート

1 あなた（ご本人）についておたずねします

問1 性別を教えてください。（1つに○）

- 回答者の性別は、「男性（43.3%）」、「女性（53.4%）」、「回答しない（1.7%）」である。
- 令和元年度の調査結果と比較すると、選択肢の数が異なるものの、「男性」と「女性」の差は、令和元年度の16.9ポイントから、今回は10.1ポイントに縮まっている。

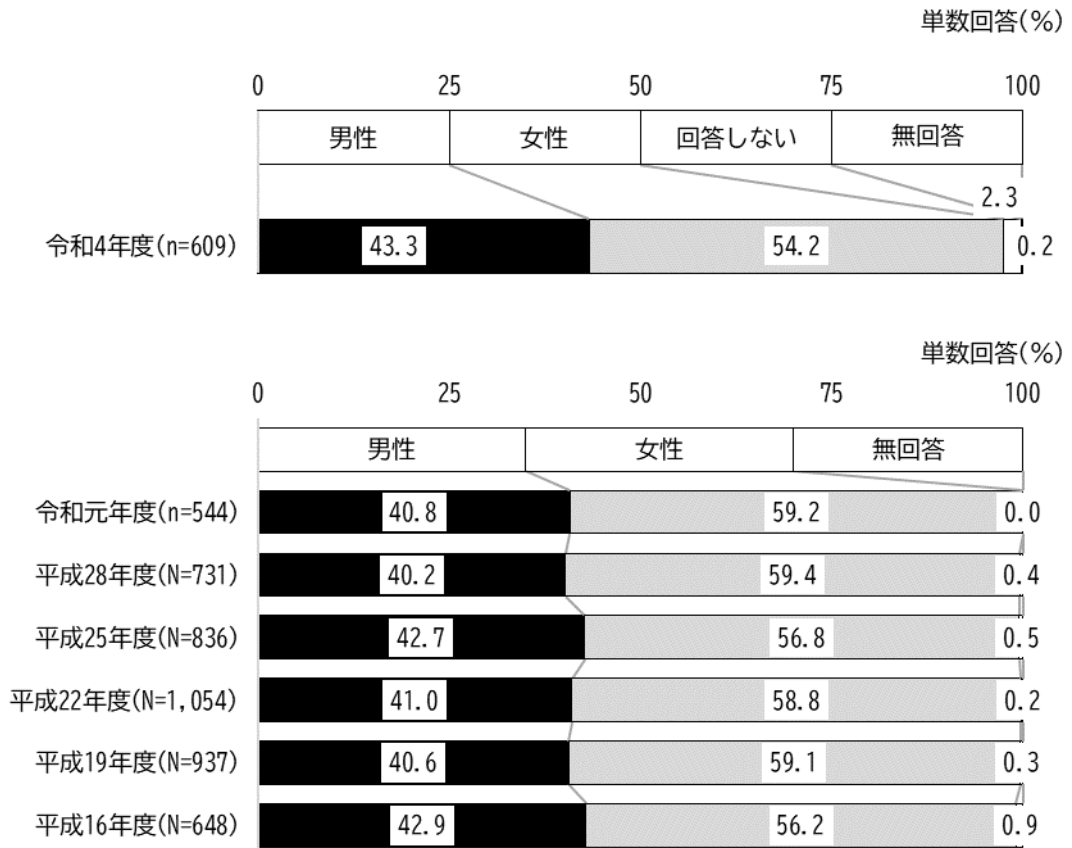
図表_市民/性別（全体）【前回比較】



- 今回調査結果の性別比は、実際の18歳以上の性別比（男性48.2%、女性51.8%、令和4年10月1日現在）と比べて、男性割合が4.9ポイント少なく、女性割合が1.6ポイント多くなっている。

- 経年で比較すると、今回の性別比は、これまでの調査のうち、男性割合が最も多く、女性割合が最も少なくなっている。

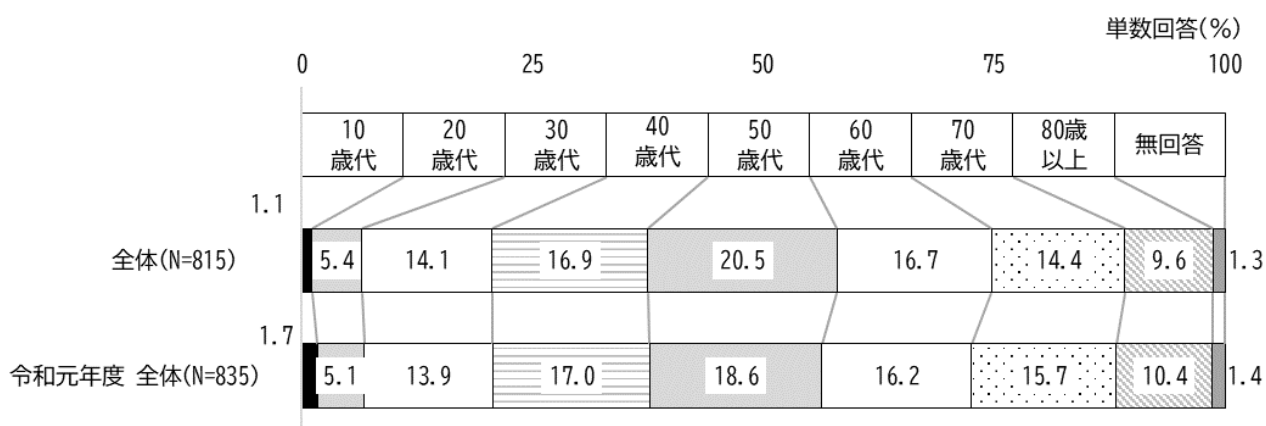
図表_市民/性別(全体)【経年比較】



問2 年齢を教えてください。(1つに○) (令和4年10月1日現在)

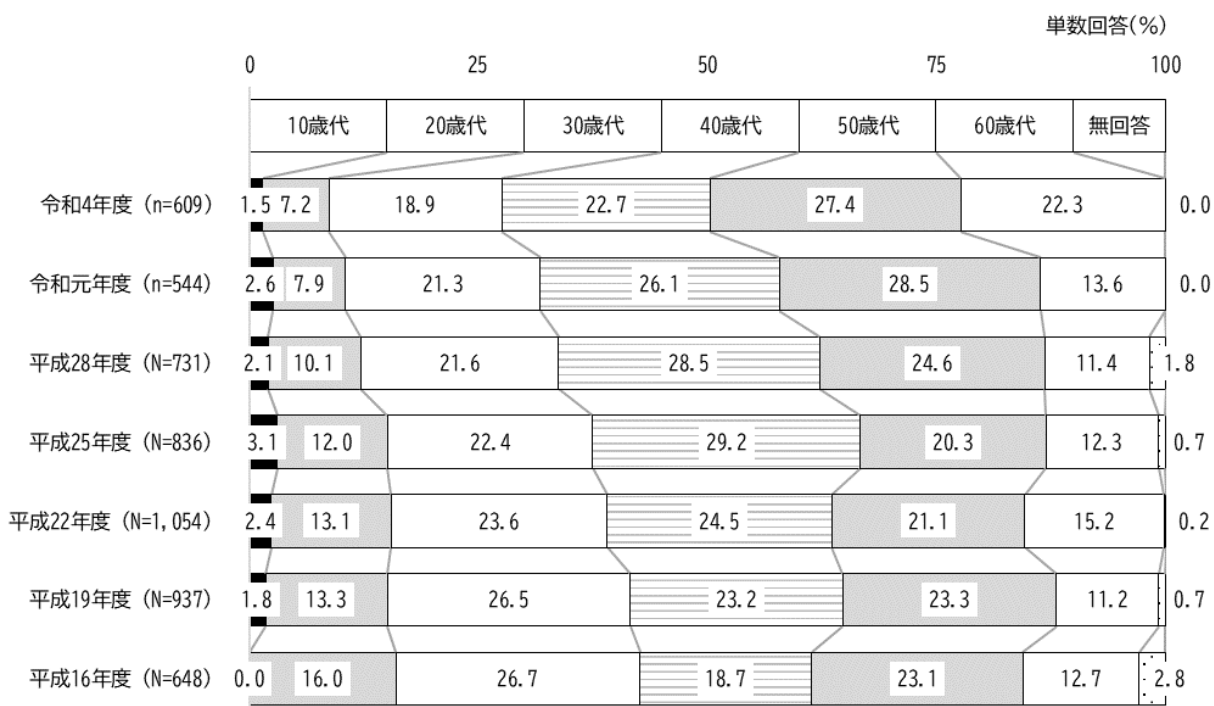
- 年齢は、「50歳代(20.5%)」が最も多く、「40歳代(16.9%)」,「60歳代(16.7%)」と続いている。
- 今回の調査と同じく65歳以上を対象とした令和元年度の調査結果と比較すると、今回は「50歳代」と「60歳代」がやや多く、「10歳代」,「70歳代」,「80歳以上」がやや少なくなっている。そのほかの年齢は概ね同じである。

図表_市民/年齢(全体)【前回比較】



- 経年で比較すると、今回の年齢割合はこれまでの調査に比べて、「20歳代」と「30歳代」と「40歳代」がやや少なくなっている。

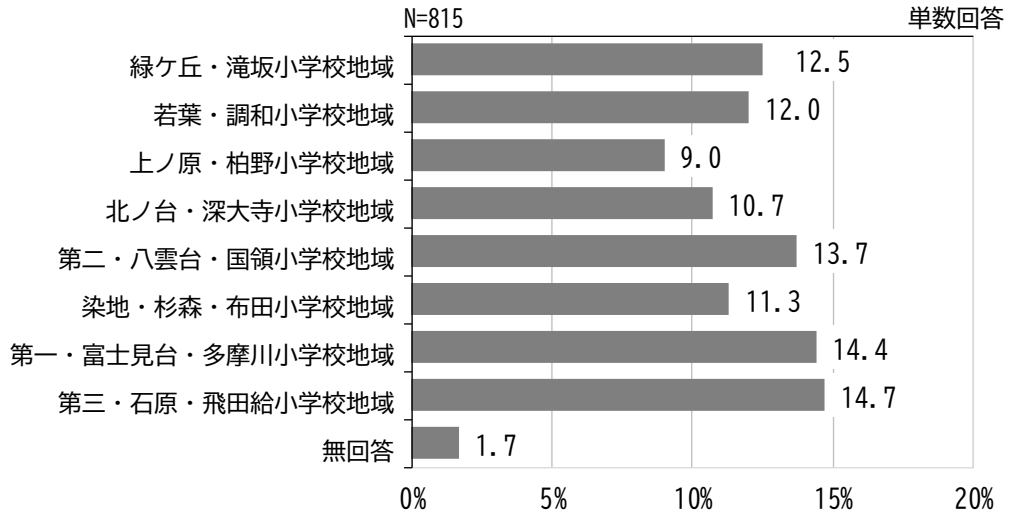
図表_市民/年齢(全体)【経年比較】



問3 お住まいの地域を教えてください。(1つに○)

- 居住地域(福祉圏域)は、「第三・石原・飛田給小学校地域(14.7%)」が最も多く、「第一・富士見台・多摩川小学校地域(14.4%)」,「第二・八雲台・国領小学校地域(13.7%)」が続いている。

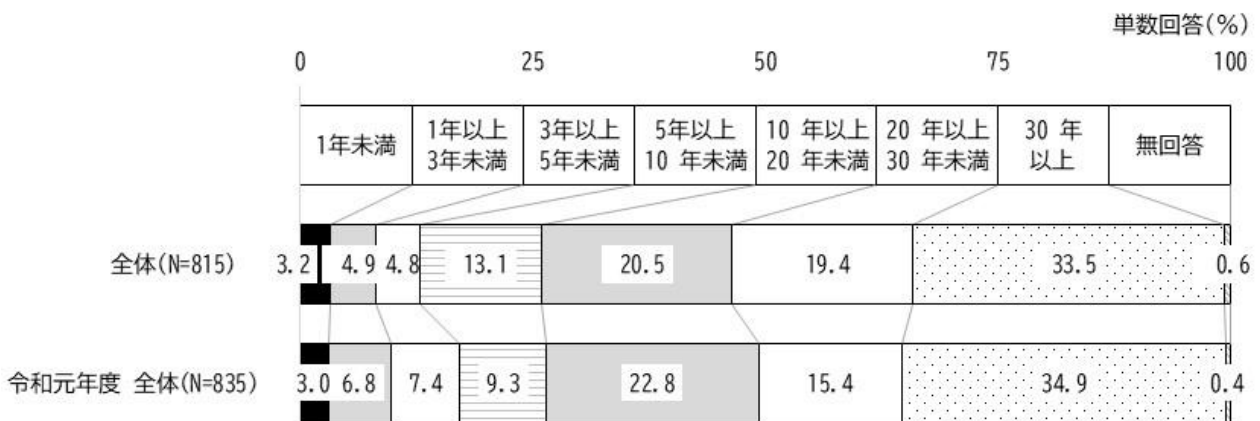
図表_市民/居住地域(全体)



問4 市内での居住年数(市外への転居期間を除く通算年数)を教えてください。(1つに○)

- 居住年数は、「30年以上(33.5%)」が最も多く、「10年以上20年未満(20.5%)」,「20年以上30年未満(19.4%)」が続いている。また、「1年未満」は3.2%である。
- 令和元年度の調査結果と比較すると、今回は「5年以上10年未満」と「20年以上30年未満」がやや多くなっている。

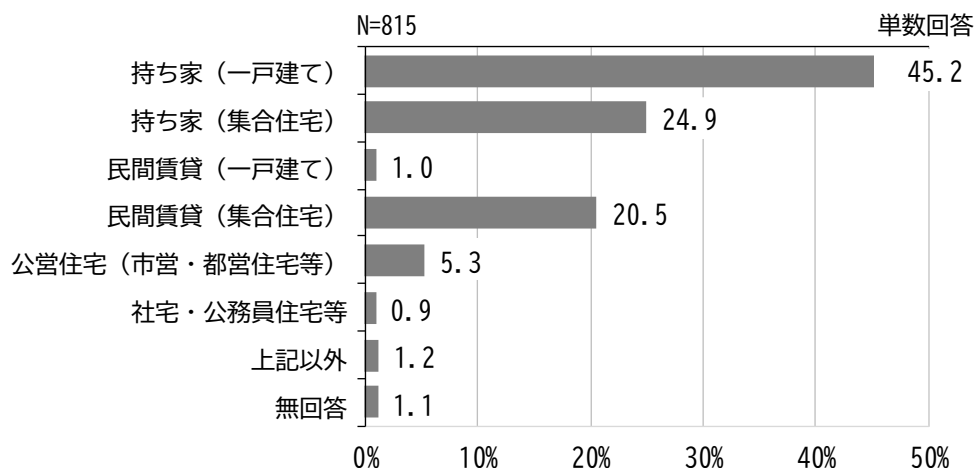
図表_市民/居住年数(全体)【前回比較】



問5 住居形態を教えてください。(1つに○)

- 住居形態は、「持ち家（一戸建て）（45.2%）」が最も多く、「持ち家（集合住宅）（24.9%）」、「民間賃貸（集合住宅）（20.5%）」が続いている。

図表_市民/住居形態（全体）



【回答者属性分析】

- 住居形態の割合を福祉圏域別にみると、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「持ち家（集合住宅）」、それ以外の地域で「持ち家（一戸建て）」が最も多くなっている。第二・八雲台・国領小学校地域で「持ち家（一戸建て）」と「民間賃貸（集合住宅）」が同率の数値となっている。また、北ノ台・深大寺小学校地域で「持ち家（一戸建て）」が7割を超えている。

図表_市民/住居形態（福祉圏域別） (%)

各項目1位に網掛		持ち家（一戸建て）	持ち家（集合住宅）	民間賃貸（一戸建て）	民間賃貸（集合住宅）	公営住宅（市営・都営住宅等）	社宅・公務員住宅等	上記以外	無回答
全	体 (N=815)	45.2	24.9	1.0	20.5	5.3	0.9	1.2	1.1
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	39.2	28.4	1.0	24.5	5.9	0.0	1.0	0.0
	若葉・調和 (n=98)	46.9	13.3	1.0	26.5	7.1	0.0	3.1	2.0
	上ノ原・柏野 (n=73)	41.1	37.0	1.4	16.4	2.7	0.0	1.4	0.0
	北ノ台・深大寺 (n=87)	75.9	2.3	1.1	17.2	2.3	0.0	1.1	0.0
	第二・八雲台・国領 (n=112)	30.4	25.9	0.0	30.4	8.9	1.8	0.9	1.8
	染地・杉森・布田 (n=92)	50.0	26.1	0.0	13.0	7.6	1.1	1.1	1.1
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	29.1	37.6	0.9	19.7	6.8	3.4	0.0	2.6
第三・石原・飛田給 (n=120)	55.0	25.8	2.5	15.0	0.0	0.0	1.7	0.0	

問6 同居している家族構成を教えてください。(1つに○)

- 家族構成は、全体をみると、「夫婦と子ども（二世帯同居）（38.8%）」が最も多く、「夫婦のみ（25.2%）」、「ひとり暮らし（17.2%）」が続いている。
- 家族構成の割合を年代別にみると、10歳代から50歳代で「夫婦と子ども（二世帯同居）」、60歳代、70歳代で「夫婦のみ」、80歳以上で「ひとり暮らし」が最も多くなっている。
- 福祉圏域別にみると、すべての地域で「夫婦と子ども（二世帯同居）」が最も多くなっている。また、第二・八雲台・国領小学校地域で「ひとり暮らし」が2割を超えている。

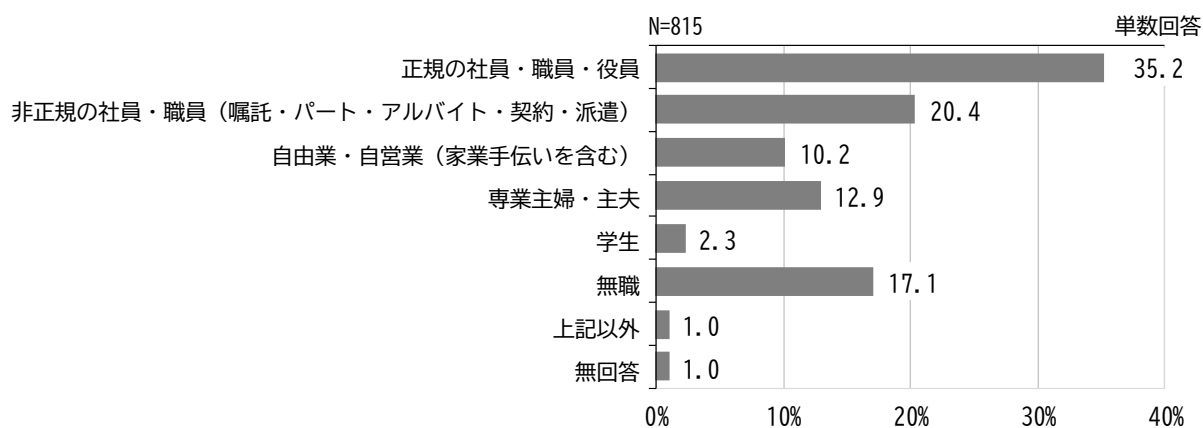
図表_市民/家族構成（年代別，福祉圏域別）（%）

各項目1位に網掛		ひとり暮らし	夫婦のみ	夫婦と親（二世帯同居）	夫婦と子ども（二世帯同居）	子どもが18歳以上（一番下の）	ひとり親と子ども（一番下の）	三世帯同居	上記以外	無回答	
全	体	(N=815)	17.2	25.2	1.7	38.8	4.8	0.5	3.9	7.1	0.9
年代別	10歳代	(n=9)	0.0	0.0	0.0	88.9	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(n=44)	25.0	6.8	0.0	56.8	4.5	0.0	0.0	6.8	0.0
	30歳代	(n=115)	14.8	20.0	0.9	51.3	0.9	0.9	1.7	9.6	0.0
	40歳代	(n=138)	8.0	12.3	0.7	58.0	2.9	1.4	4.3	12.3	0.0
	50歳代	(n=167)	13.2	16.8	3.6	49.1	7.8	0.6	3.6	4.8	0.6
	60歳代	(n=136)	11.8	47.1	3.7	23.5	2.2	0.0	4.4	5.1	2.2
	70歳代	(n=117)	29.1	40.2	0.0	11.1	6.8	0.0	5.1	6.8	0.9
	80歳以上	(n=78)	33.3	26.9	1.3	15.4	9.0	0.0	7.7	5.1	1.3
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂	(n=102)	16.7	19.6	2.0	44.1	4.9	1.0	2.9	8.8	0.0
	若葉・調和	(n=98)	18.4	29.6	2.0	31.6	11.2	0.0	2.0	3.1	2.0
	上ノ原・柏野	(n=73)	12.3	24.7	1.4	46.6	1.4	1.4	2.7	9.6	0.0
	北ノ台・深大寺	(n=87)	13.8	28.7	1.1	35.6	6.9	0.0	5.7	8.0	0.0
	第二・八雲台・国領	(n=112)	25.9	26.8	0.9	28.6	3.6	0.9	3.6	8.0	1.8
	染地・杉森・布田	(n=92)	10.9	22.8	1.1	47.8	4.3	0.0	4.3	7.6	1.1
	第一・富士見台・多摩川	(n=117)	17.1	24.8	2.6	41.0	3.4	0.9	2.6	6.8	0.9
	第三・石原・飛田給	(n=120)	18.3	25.0	2.5	37.5	2.5	0.0	7.5	6.7	0.0

問7 現在の職業を教えてください。(1つに○)

- 職業は、「正規の社員・職員・役員(35.2%)」が最も多く、「非正規の社員・職員(嘱託・パート・アルバイト・契約・派遣)(20.4%)」、「無職(17.1%)」が続いている。

図表_市民/職業(全体)

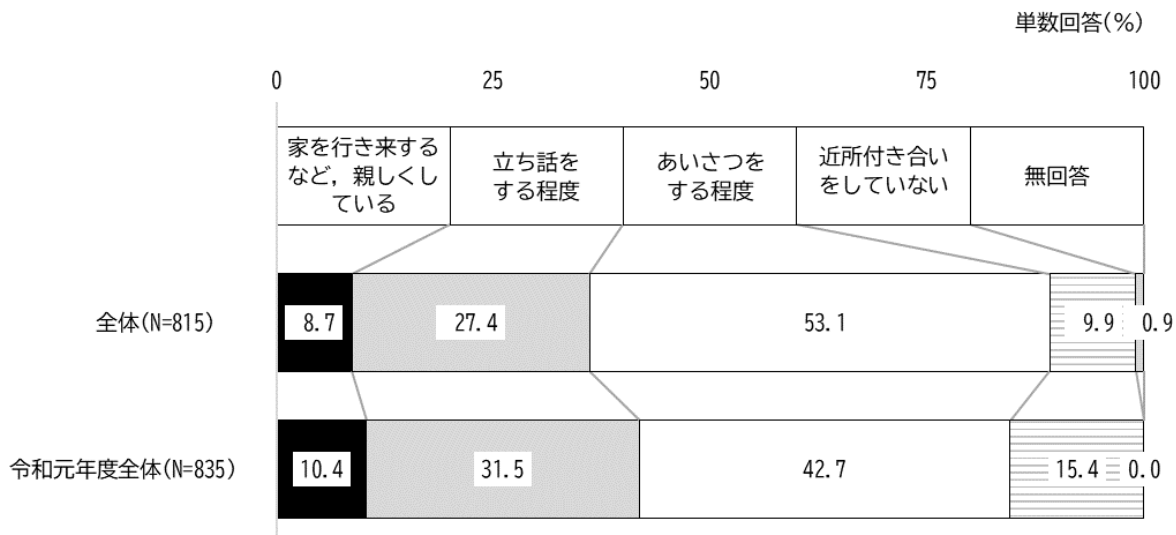


2 近所付き合いについておたずねします

問8 近所付き合いは、どの程度していますか。(主なもの1つに○)

- 近所付き合いの状況は、「あいさつをする程度(53.1%)」が最も多く、「立ち話をする程度(27.4%)」が続いている。
- 「家を行き来するなど、親しくしている」と「立ち話をする程度」を合わせた『親密な近所付き合いをしている』割合は36.1%となっている。
- 今回の結果は令和元年度調査結果に比べて「あいさつをする程度」の割合が多くなっている。『親密な近所付き合いをしている』*割合を比べると、令和元年度調査は41.9%であり、今回は5.8ポイント低くなっている。

図表_市民/近所付き合いの状況(全体)【前回比較】



*「家を行き来するなど、親しくしている」と「立ち話をする程度」の合計

【回答者属性分析】

- 近所付き合いの状況の割合を各項目別にみると、年代別の80歳以上、住居形態別の社宅・公務員住宅等を除くすべての項目で「あいさつをする程度」が最も多くなっている。
- 性別にみると、『親密な近所付き合いをしている』*の割合は、男性が28.0%、女性は43.9%となっている。
- 年代別にみると、『親密な近所付き合いをしている』*の割合は、10~20歳代で1割未満、30~40歳代で2割強、50~70歳代で4割強、80歳以上で6割を超える数値となっている。
- 福祉圏域別にみると、『親密な近所付き合いをしている』*の割合は、北ノ台・深大寺小学校地域と第三・石原・飛田給小学校地域で4割を超える高い数値となっている。一方で、第二・八雲台・国領小学校地域では3割に満たない数値となっている。

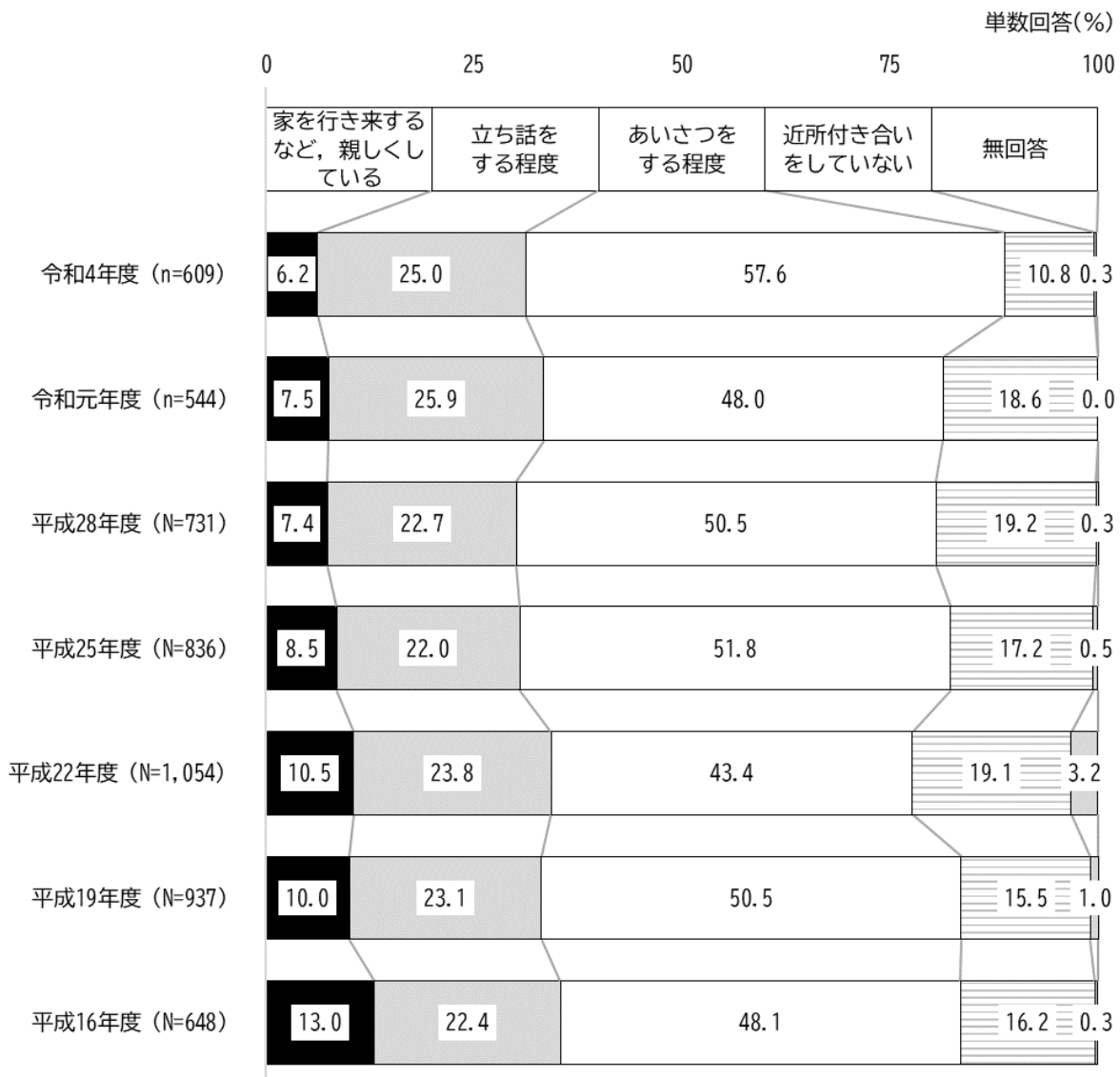
- 家族構成別にみると、ひとり暮らしで「近所付き合いをしていない」の割合が全体と比べて17.2ポイント高い数値となっている。
- 住居形態別にみると、『親密な近所付き合いをしている』*の割合は、持ち家（一戸建て）で5割以上、持ち家（集合住宅）で約3割となっている。一方で、民間賃貸は一戸建て・集合住宅とも1割程度となっている。

図表_市民/近所付き合いの状況（性別，年代別，福祉圏域別，家族構成別，住居形態別）（%）

各項目1位に網掛			親家 しを く行 きて 来 す る な ど、	立 ち 話 を す る 程 度	あ い さ つ を す る 程 度	な 近 所 付 き 合 い を し て い	無 回 答	を『 し親 密な 近 所 付 き 合 い
全	体	(N=815)	8.7	27.4	53.1	9.9	0.9	36.1
性 別	男性	(n=353)	5.1	22.9	61.8	9.9	0.3	28.0
	女性	(n=435)	11.3	32.6	44.8	10.1	1.1	43.9
	回答しない	(n=14)	7.1	0.0	78.6	14.3	0.0	7.1
年 代 別	10歳代	(n=9)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代	(n=44)	2.3	2.3	72.7	22.7	0.0	4.6
	30歳代	(n=115)	8.7	14.8	59.1	17.4	0.0	23.5
	40歳代	(n=138)	6.5	17.4	61.6	14.5	0.0	23.9
	50歳代	(n=167)	7.2	32.9	53.3	6.6	0.0	40.1
	60歳代	(n=136)	4.4	40.4	50.0	3.7	1.5	44.8
	70歳代	(n=117)	17.9	25.6	46.2	8.5	1.7	43.5
	80歳以上	(n=78)	11.5	52.6	26.9	6.4	2.6	64.1
福 祉 圏 域 別 (小 学 校 区)	緑ヶ丘・滝坂	(n=102)	9.8	22.5	52.9	13.7	1.0	32.3
	若葉・調和	(n=98)	8.2	29.6	51.0	9.2	2.0	37.8
	上ノ原・柏野	(n=73)	6.8	30.1	50.7	12.3	0.0	36.9
	北ノ台・深大寺	(n=87)	8.0	36.8	49.4	5.7	0.0	44.8
	第二・八雲台・国領	(n=112)	6.3	21.4	59.8	11.6	0.9	27.7
	染地・杉森・布田	(n=92)	5.4	31.5	52.2	10.9	0.0	36.9
	第一・富士見台・多摩川	(n=117)	11.1	21.4	55.6	10.3	1.7	32.5
	第三・石原・飛田給	(n=120)	10.0	31.7	50.8	7.5	0.0	41.7
家 族 構 成 別	ひとり暮らし	(n=140)	11.4	22.9	37.9	27.1	0.7	34.3
	その他	(n=668)	8.2	28.4	56.6	6.4	0.3	36.6
住 居 形 態 別	持ち家（一戸建て）	(n=368)	8.2	42.9	44.8	4.1	0.0	51.1
	持ち家（集合住宅）	(n=203)	13.3	15.8	62.1	8.9	0.0	29.1
	民間賃貸（一戸建て）	(n=8)	0.0	12.5	87.5	0.0	0.0	12.5
	民間賃貸（集合住宅）	(n=167)	4.8	8.4	62.3	24.0	0.6	13.2
	公営住宅（市営・都営住宅等）	(n=43)	14.0	30.2	46.5	4.7	4.7	44.2
	社宅・公務員住宅等	(n=7)	0.0	28.6	28.6	42.9	0.0	28.6
	上記以外	(n=10)	0.0	30.0	50.0	20.0	0.0	30.0

- 経年で比較すると、近所づきあいの状況は、平成16年度から令和元年度まで、「あいさつをする程度」が最も多く、4~5割を占めていた。今回の「あいさつをする程度」は5割半ばであり、これまでで最も高くなっている。

図表_市民/近所付き合いの状況(全体)【経年比較】

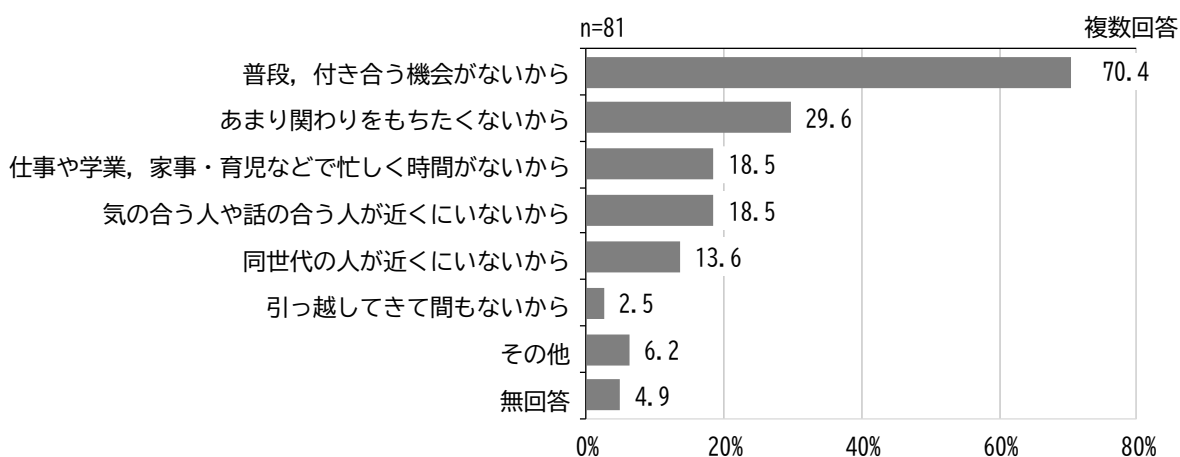


付問 問8で「4 近所付き合いをしていない」と答えた人におたずねします。近所付き合いをしていない理由は何ですか。（いくつでも○）

- 日ごろの近所付き合いについて「近所付き合いをしていない」と答えた人にその理由をたずねたところ、「普段、付き合う機会がないから（70.4%）」が最も多く、「あまり関わりをもちたくないから（29.6%）」、「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから（18.5%）」と「気の合う人や話の合う人が近くにいないから（18.5%）」が続いている。

図表_市民/近所付き合いをしていない理由（全体）

<「近所付き合いをしていない」と回答した人>



【回答者属性分析】

- 日ごろ「近所付き合いをしていない」と答えた人の理由の割合を年代別にみると、20歳代から80歳以上まで「普段、付き合う機会がないから」が最も多くなっている（10歳代は該当者なし）。70歳代で「普段、付き合う機会がないから」と「あまり関わりをもちたくないから」が同率の数値となっている。また、「仕事や学業、家事・育児などで忙しく時間がないから」は30歳代が3割、40歳代が4割となっている。
- 福祉圏域別にみると、北ノ台・深大寺小学校地域で「あまり関わりをもちたくないから」が最も多く、それ以外の地域で「普段、付き合う機会がないから」が最も多くなっている。また、若葉・調和小学校地域、上ノ原・柏野小学校地域で「あまり関わりをもちたくないから」が4割を超えている。
- 家族構成別にみると、ひとり暮らし、その他ともに「普段、付き合う機会がないから」が最も多くなっている。
- 住居形態別にみると、持ち家（一戸建て）で「あまり関わりをもちたくないから」が最も多く、それ以外の区分で「普段、付き合う機会がないから」が最も多くなっている（上記以外を除く、民間賃貸（一戸建て）は該当者なし）。

図表_市民／近所付き合いをしていない理由（年代別、福祉圏域別、家族構成別、住居形態別）（％）

<「近所付き合いをしていない」と回答した人>

各項目1位に網掛		ないから	仕事や学業、家事・育児	引越してきて間もない	普段、付き合い合う機会がない	同世代の人が近くにいない	気が合う人や話の合う人が近くにいない	あまり関わりをもちたかない	その他	無回答
全	体 (n=81)	18.5	2.5	70.4	13.6	18.5	29.6	6.2	4.9	
年代別	10歳代 (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代 (n=10)	10.0	0.0	80.0	20.0	10.0	30.0	0.0	0.0	
	30歳代 (n=20)	30.0	0.0	75.0	5.0	5.0	30.0	5.0	10.0	
	40歳代 (n=20)	40.0	5.0	75.0	20.0	35.0	25.0	10.0	5.0	
	50歳代 (n=11)	0.0	0.0	72.7	9.1	27.3	27.3	9.1	0.0	
	60歳代 (n=5)	0.0	20.0	60.0	0.0	0.0	40.0	0.0	20.0	
	70歳代 (n=10)	0.0	0.0	40.0	20.0	30.0	40.0	10.0	0.0	
	80歳以上 (n=5)	0.0	0.0	80.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=14)	21.4	0.0	64.3	7.1	14.3	0.0	7.1	7.1	
	若葉・調和 (n=9)	33.3	11.1	77.8	22.2	33.3	44.4	11.1	0.0	
	上ノ原・柏野 (n=9)	22.2	11.1	66.7	22.2	33.3	44.4	0.0	0.0	
	北ノ台・深大寺 (n=5)	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0	0.0	40.0	
	第二・八雲台・国領 (n=13)	15.4	0.0	76.9	7.7	7.7	30.8	15.4	7.7	
	染地・杉森・布田 (n=10)	10.0	0.0	90.0	30.0	30.0	30.0	10.0	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=12)	16.7	0.0	75.0	8.3	16.7	33.3	0.0	0.0	
	第三・石原・飛田給 (n=9)	22.2	0.0	77.8	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	
家族構成別	ひとり暮らし (n=38)	13.2	5.3	76.3	13.2	13.2	26.3	5.3	5.3	
	その他 (n=43)	23.3	0.0	65.1	14.0	23.3	32.6	7.0	4.7	
住居形態別	持ち家（一戸建て） (n=15)	26.7	0.0	46.7	13.3	26.7	53.3	0.0	6.7	
	持ち家（集合住宅） (n=18)	16.7	0.0	66.7	11.1	16.7	16.7	5.6	0.0	
	民間賃貸（一戸建て） (n=0)	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	民間賃貸（集合住宅） (n=40)	17.5	5.0	77.5	12.5	15.0	27.5	5.0	7.5	
	公営住宅（市営・都営住宅等） (n=2)	50.0	0.0	100.0	50.0	50.0	50.0	50.0	0.0	
	社宅・公務員住宅等 (n=3)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	
	上記以外 (n=2)	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	

3 市民同士の支え合い，地域活動についておたずねします

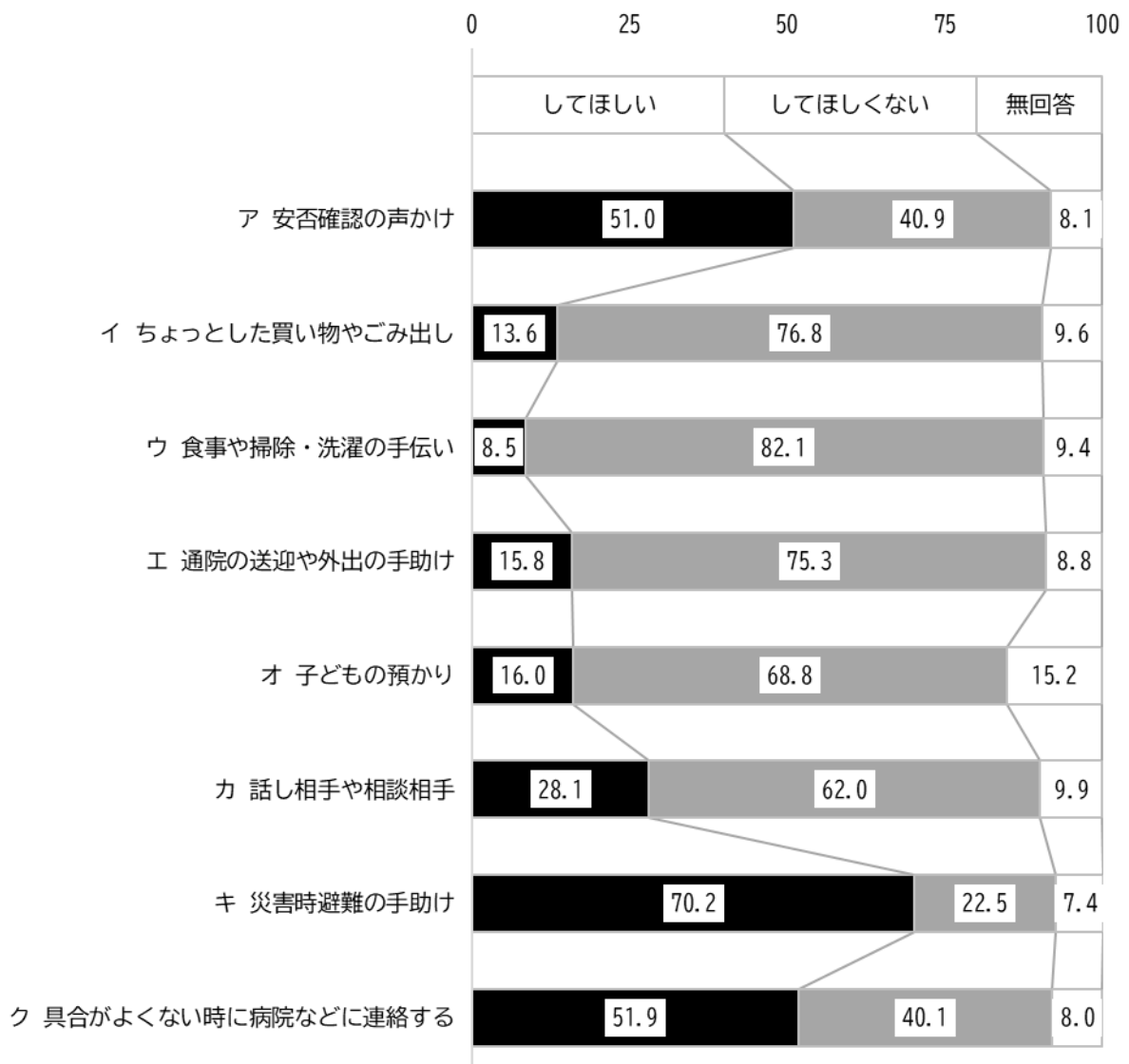
問9 あなたは次の事柄について，家族以外のまわりの人から手助けをしてほしいと思いますか。また，まわりの人に手助けできること（してもいいこと）はありますか。①手助けしてほしいか，②手助けできるかについて，それぞれ1つに○を付けてください。

① 手助けしてほしいこと

○ 手助けを「してほしい」の割合は，『災害時避難の手助け（70.2%）』が最も多く，『具合がよくない時に病院などに連絡する（51.9%）』，『安否確認の声かけ（51.0%）』が続いている。

図表_市民/手助けしてほしいこと（全体）

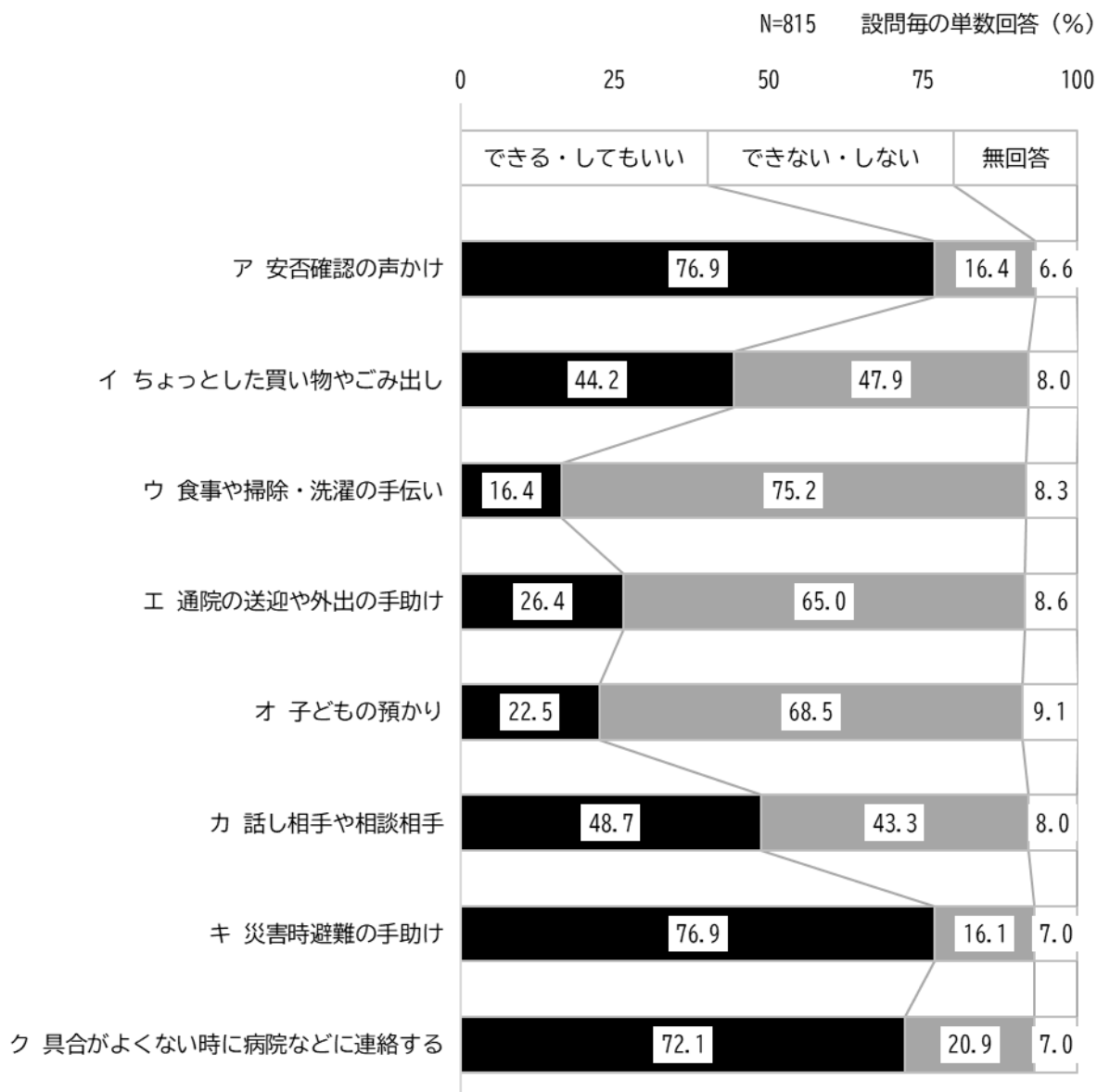
N=815 設問毎の単数回答（%）



② 手助けできること

- 手助けを「できる・してもいい」の割合は、『安否確認の声かけ（76.9%）』と『災害時避難の手助け（76.9%）』が最も多く、『具合がよくない時に病院などに連絡する（72.1%）』が続いている。

図表_市民/手助けできること（全体）



【回答者属性分析】

① 手助けしてほしいか

- 手助けを「してほしい」の割合を性別で見ると、男性、女性、回答しないとも、『災害時避難の手助け』が最も多くなっている。
- 年代別にみると、すべての年代で『災害時避難の手助け』が最も多くなっている。また、30歳代で『子どもの預かり』が3割を超えている。
- 福祉圏域別にみると、すべての地域で『災害時避難の手助け』が最も多くなっている。

図表_市民／手助けしてほしいか（性別，年代別，福祉圏域別）（％）

< 「してほしい」の割合 >

各項目1位に網掛		安否確認の声かけ	出ちよつとした買い物やごみ	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時避難の手助け	具合がよくない時に病院など連絡する
全	体 (N=815)	51.0	13.6	8.5	15.8	16.0	28.1	70.2	51.9
性別	男性 (n=353)	49.6	9.1	5.9	14.2	12.7	26.1	66.9	49.0
	女性 (n=435)	52.9	16.8	10.6	17.0	18.2	29.7	73.3	54.0
	回答しない (n=14)	57.1	35.7	14.3	28.6	35.7	50.0	78.6	71.4
年代別	10歳代 (n=9)	44.4	0.0	2.3	9.1	15.9	25.0	75.0	54.5
	20歳代 (n=44)	56.8	6.8	2.3	9.1	15.9	25.0	75.0	54.5
	30歳代 (n=115)	56.5	13.9	13.0	18.3	38.3	38.3	79.1	48.7
	40歳代 (n=138)	59.4	11.6	9.4	15.9	29.7	32.6	79.0	55.1
	50歳代 (n=167)	52.1	16.2	7.8	17.4	13.8	31.1	74.9	57.5
	60歳代 (n=136)	47.8	14.0	8.8	16.2	5.9	20.6	60.3	52.9
	70歳代 (n=117)	44.4	14.5	7.7	9.4	2.6	23.1	60.7	43.6
	80歳以上 (n=78)	44.9	15.4	6.4	20.5	2.6	24.4	64.1	50.0
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	49.0	8.8	6.9	13.7	18.6	30.4	76.5	52.9
	若葉・調和 (n=98)	51.0	14.3	6.1	14.3	17.3	30.6	72.4	52.0
	上ノ原・柏野 (n=73)	42.5	15.1	12.3	16.4	21.9	24.7	72.6	56.2
	北ノ台・深大寺 (n=87)	51.7	16.1	10.3	20.7	13.8	32.2	70.1	57.5
	第二・八雲台・国領 (n=112)	57.1	14.3	8.0	17.0	14.3	26.8	72.3	50.0
	染地・杉森・布田 (n=92)	58.7	12.0	6.5	12.0	14.1	26.1	67.4	51.1
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	52.1	13.7	9.4	15.4	17.9	29.9	63.2	47.0
	第三・石原・飛田給 (n=120)	48.3	15.0	10.0	17.5	12.5	26.7	71.7	53.3

【回答者属性分析】

② 手助けできること

- 手助けを「できる・してもいい」の割合を性別で見ると、男性で『災害時避難の手助け』が最も多く、女性と回答しないで『安否確認の声かけ』が最も多くなっている。
- 年代別にみると、10歳代から60歳代まで『災害時避難の手助け』が最も多く、60歳代から80歳以上まで『安否確認の声かけ』が最も多くなっている。60歳代で『安否確認の声かけ』と『災害時避難の手助け』が同率の数値となっている。
- 福祉圏域別にみると、上ノ原・柏野小学校地域、第三・石原・飛田給小学校地域で『災害時避難の手助け』が最も多く、それ以外の地域で『安否確認の声かけ』が最も多くなっている。若葉・調和小学校地域で『安否確認の声かけ』と『災害時避難の手助け』が同率の数値となっている。

図表 市民／手助けできること（性別，年代別，福祉圏域別）（％）

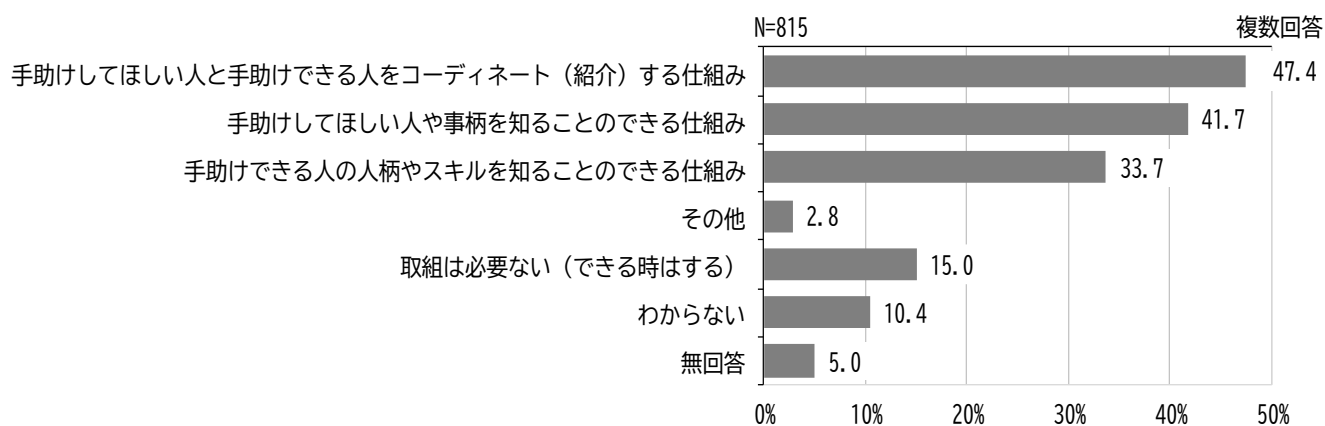
< 「できる・してもいい」の割合 >

各項目1位に網掛		安否確認の声かけ	出ちよつとした買い物やごみ	食事や掃除・洗濯の手伝い	通院の送迎や外出の手助け	子どもの預かり	話し相手や相談相手	災害時避難の手助け	ど具合がよくない時に病院な
全	体 (N=815)	76.9	44.2	16.4	26.4	22.5	48.7	76.9	72.1
性別	男性 (n=353)	74.8	40.2	13.0	28.3	20.4	47.6	82.4	72.8
	女性 (n=435)	79.8	47.8	19.8	26.4	24.8	50.3	73.8	72.4
	回答しない (n=14)	71.4	50.0	7.1	0.0	14.3	57.1	57.1	64.3
年代別	10歳代 (n=9)	55.6	33.3	20.5	20.5	20.5	61.4	88.6	79.5
	20歳代 (n=44)	81.8	34.1	20.5	20.5	20.5	61.4	88.6	79.5
	30歳代 (n=115)	80.9	39.1	13.9	24.3	30.4	56.5	83.5	72.2
	40歳代 (n=138)	84.8	46.4	18.8	29.7	36.2	49.3	86.2	81.9
	50歳代 (n=167)	83.8	54.5	19.8	34.7	25.7	53.9	89.2	82.0
	60歳代 (n=136)	83.1	52.9	18.4	33.1	19.9	45.6	83.1	79.4
	70歳代 (n=117)	70.1	42.7	13.7	21.4	10.3	42.7	62.4	58.1
	80歳以上 (n=78)	46.2	21.8	7.7	7.7	2.6	37.2	30.8	38.5
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	77.5	43.1	19.6	26.5	25.5	46.1	76.5	70.6
	若葉・調和 (n=98)	81.6	52.0	14.3	21.4	21.4	46.9	81.6	76.5
	上ノ原・柏野 (n=73)	67.1	42.5	21.9	21.9	30.1	47.9	83.6	76.7
	北ノ台・深大寺 (n=87)	79.3	50.6	17.2	35.6	20.7	59.8	75.9	67.8
	第二・八雲台・国領 (n=112)	72.3	38.4	17.9	25.0	17.9	39.3	71.4	65.2
	染地・杉森・布田 (n=92)	85.9	41.3	18.5	27.2	22.8	54.3	77.2	72.8
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	76.9	41.9	14.5	29.1	21.4	52.1	75.2	72.6
	第三・石原・飛田給 (n=120)	76.7	45.8	10.8	26.7	23.3	48.3	79.2	77.5

問10 家族以外のまわりの人に、問9ア～クのような手伝いや手助けをする（してもらう）に当たり、どのような取組があるとよいと思いますか。（いくつでも○）

- 家族以外のまわりの人に手伝いや手助けをする（してもらう）ために必要な取組は、「手助けしてほしい人と手助けできる人をコーディネート（紹介）する仕組み（47.4%）」が最も多く、「手助けしてほしい人や事柄を知ることのできる仕組み（41.7%）」、「手助けできる人の人柄やスキルを知ることのできる仕組み（33.7%）」が続いている。

図表_市民／手伝いや手助けに必要な取組（全体）

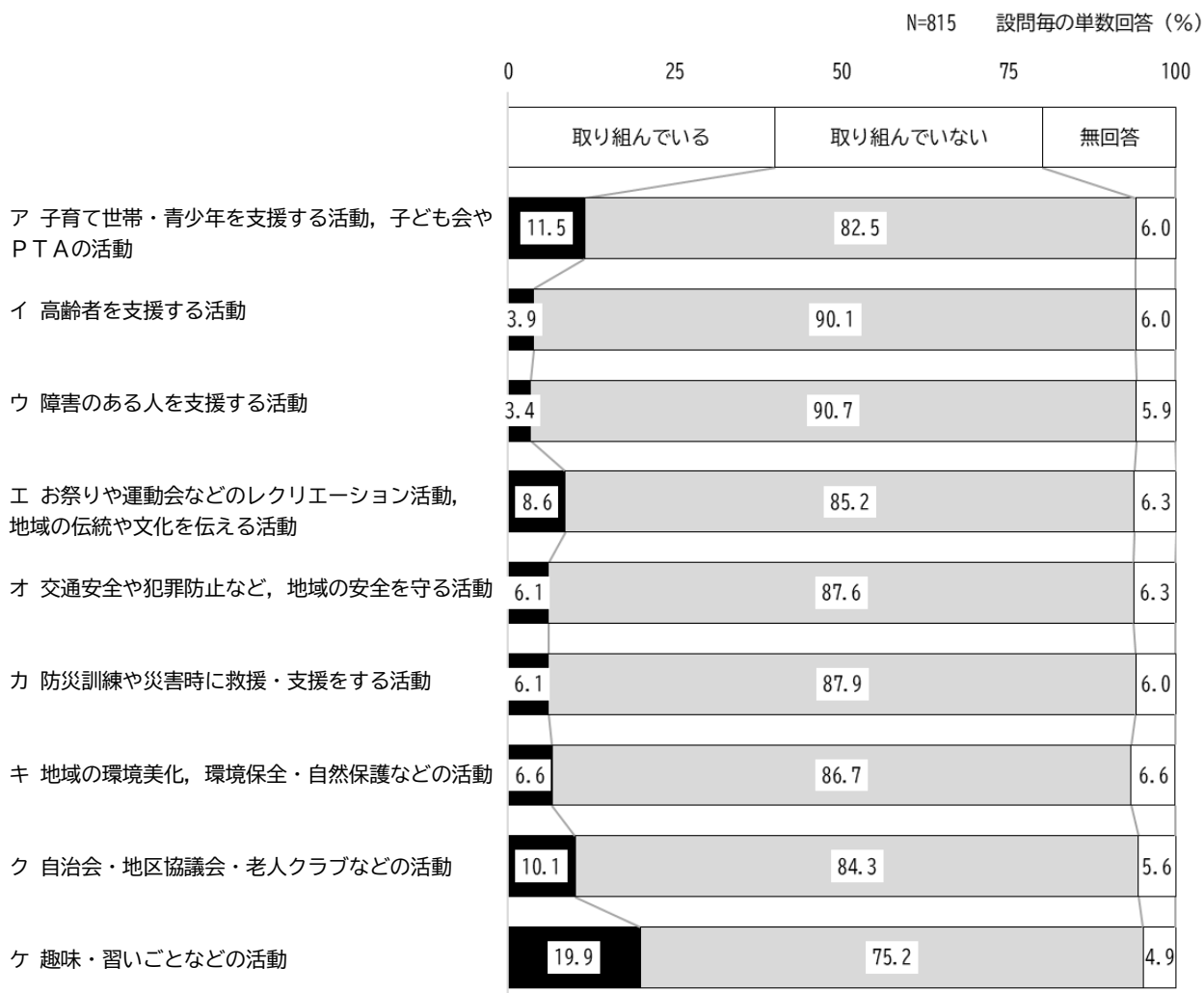


問 11 市内では多くの地域活動・ボランティア活動が行われています。①あなたは、次のような活動に取り組んでいますか、②今後、次のような活動に取り組みたいです。 (それぞれ1つに○)

① 地域活動・ボランティア活動の取組状況

- 地域活動・ボランティア活動の取組状況について、すべての取組で「取り組んでいない」が最も多くなっている。
- 「取り組んでいる」活動をみると、『趣味・習いごとなどの活動 (19.9%)』が最も多く、『子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動 (11.5%)』, 『自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動 (10.1%)』が続いている。

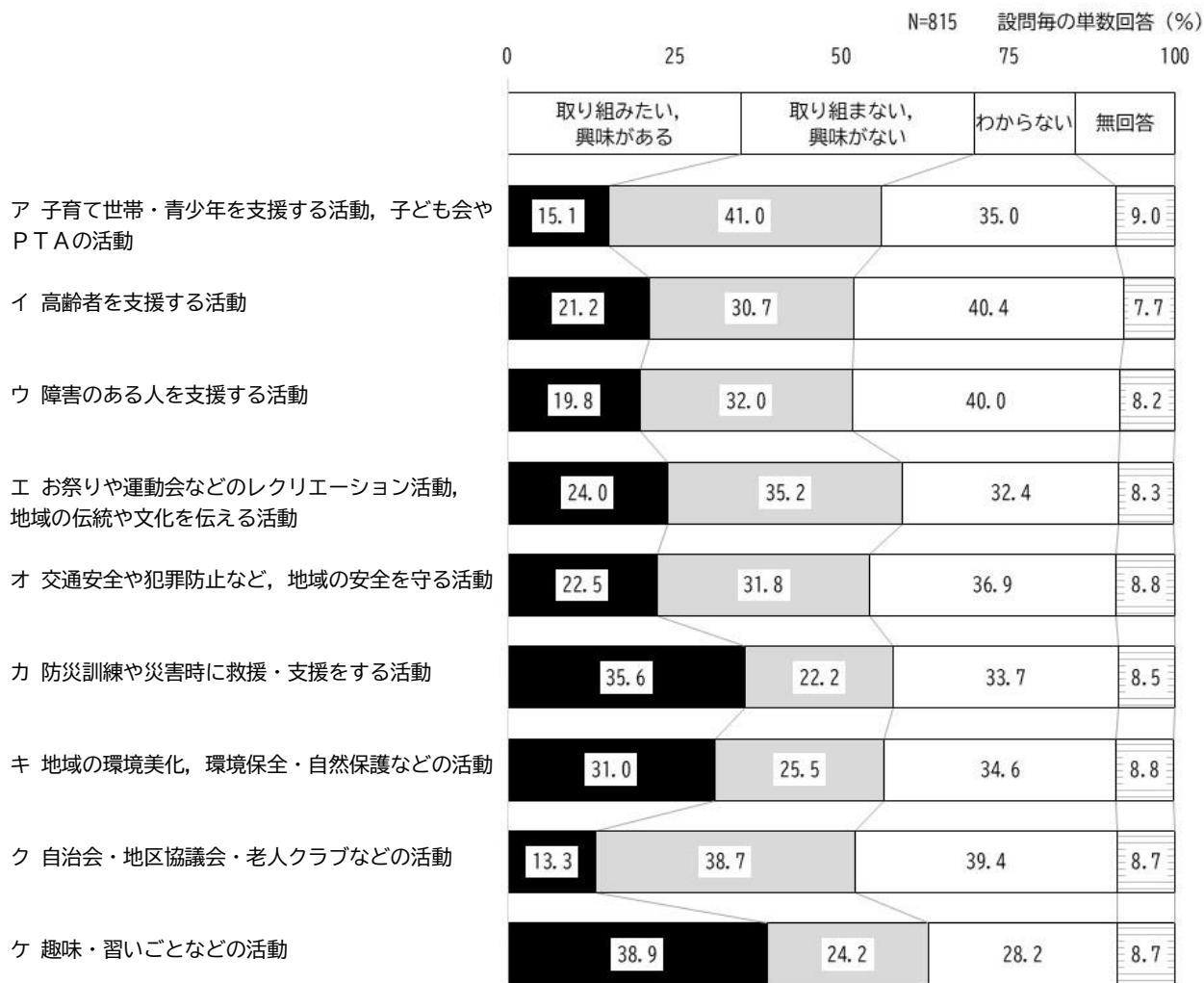
図表_市民/地域活動・ボランティア活動の取組状況 (全体)



② 地域活動・ボランティア活動の今後の取組意向

- 地域活動・ボランティア活動の今後の取組意向について、「取り組みたい、興味がある」の割合は、『趣味・習いごとなどの活動（38.9%）』が最も多く、『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動（35.6%）』，『地域の環境美化，環境保全・自然保護などの活動（31.0%）』が続いている。

図表_市民/地域活動・ボランティア活動の今後の取組意向（全体）



【回答者属性分析】

① 地域活動・ボランティア活動の取組状況

- 地域活動・ボランティア活動に「取り組んでいる」の割合を性別で見ると、男性、女性、回答しないとも、『趣味・習いごとなどの活動』が最も多くなっている。
- 年代別にみると、40歳代で『子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動』が最も多く、それ以外の年代で『趣味・習いごとなどの活動』が最も多くなっている。10歳代で『子育て世帯・青少年を支援する活動、子ども会やPTAの活動』と『趣味・習いごとなどの活動』が同率の数値となっている。
- 福祉圏域別にみると、すべての地域で『趣味・習いごとなどの活動』が最も多くなっている。

図表_市民/地域活動・ボランティア活動の取組状況（性別、年代別、福祉圏域別）（％）

<「取り組んでいる」の割合>

各項目1位に網掛		子育て世帯・青少年を支援する活動	高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	シヨク活動、地域の伝統や文化を伝える活動	お祭りや運動会などのレクリエーション活動	交通安全や犯罪防止など、地域の安全を守る活動	防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	趣味・習いごとなどの活動
全	体	(N=815)	11.5	3.9	3.4	8.6	6.1	6.1	6.6	10.1	19.9
性別	男性	(n=353)	7.6	2.8	2.5	7.9	4.0	6.2	5.7	7.4	12.7
	女性	(n=435)	14.7	5.1	4.4	9.4	8.0	5.7	7.8	12.6	26.0
	回答しない	(n=14)	21.4	0.0	0.0	7.1	7.1	21.4	0.0	7.1	28.6
年代別	10歳代	(n=9)	11.1	0.0	2.3	9.1	4.5	6.8	6.8	6.8	11.1
	20歳代	(n=44)	9.1	4.5	2.3	9.1	4.5	6.8	6.8	6.8	13.6
	30歳代	(n=115)	13.9	2.6	3.5	7.8	7.8	4.3	6.1	6.1	18.3
	40歳代	(n=138)	27.5	1.4	2.2	14.5	6.5	5.8	4.3	7.2	19.6
	50歳代	(n=167)	12.6	4.8	4.8	9.0	6.6	5.4	5.4	9.6	15.0
	60歳代	(n=136)	3.7	3.7	3.7	8.1	6.6	8.8	9.6	11.8	21.3
	70歳代	(n=117)	6.8	8.5	6.0	6.0	6.8	6.0	8.5	15.4	22.2
	80歳以上	(n=78)	1.3	2.6	0.0	5.1	2.6	6.4	7.7	15.4	34.6
福祉圏域別 (小学校区)	緑ヶ丘・滝坂	(n=102)	9.8	2.0	2.0	5.9	5.9	2.9	7.8	4.9	19.6
	若葉・調和	(n=98)	7.1	1.0	0.0	7.1	6.1	8.2	4.1	8.2	16.3
	上ノ原・柏野	(n=73)	19.2	4.1	5.5	13.7	11.0	12.3	13.7	11.0	26.0
	北ノ台・深大寺	(n=87)	10.3	2.3	0.0	8.0	5.7	4.6	6.9	12.6	23.0
	第二・八雲台・国領	(n=112)	8.9	3.6	5.4	5.4	2.7	1.8	2.7	5.4	17.0
	染地・杉森・布田	(n=92)	14.1	6.5	5.4	12.0	8.7	8.7	5.4	16.3	18.5
	第一・富士見台・多摩川	(n=117)	12.8	6.0	5.1	8.5	4.3	7.7	6.0	11.1	19.7
	第三・石原・飛田給	(n=120)	13.3	5.8	4.2	10.8	7.5	5.0	9.2	13.3	22.5

【回答者属性分析】

② 地域活動・ボランティア活動の今後の取組意向

- 今後の「取り組みたい、興味がある」の割合を性別で見ると、男性で『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動』が最も多く、女性と回答しないで『趣味・習いごとなどの活動』が最も多くなっている。
- 年代別にみると、30歳代から50歳代まで『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動』が最も多く、それ以外の年代で『趣味・習いごとなどの活動』が最も多くなっている。
- 福祉圏域別にみると、第一・富士見台・多摩川小学校地域で『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動』が最も多く、それ以外の地域で『趣味・習いごとなどの活動』が最も多くなっている。第三・石原・飛田給小学校地域で『防災訓練や災害時に救援・支援をする活動』と『趣味・習いごとなどの活動』が同率の数値となっている。

図表_市民/地域活動・ボランティア活動の今後の取組意向（性別、年代別、福祉圏域別）（%）

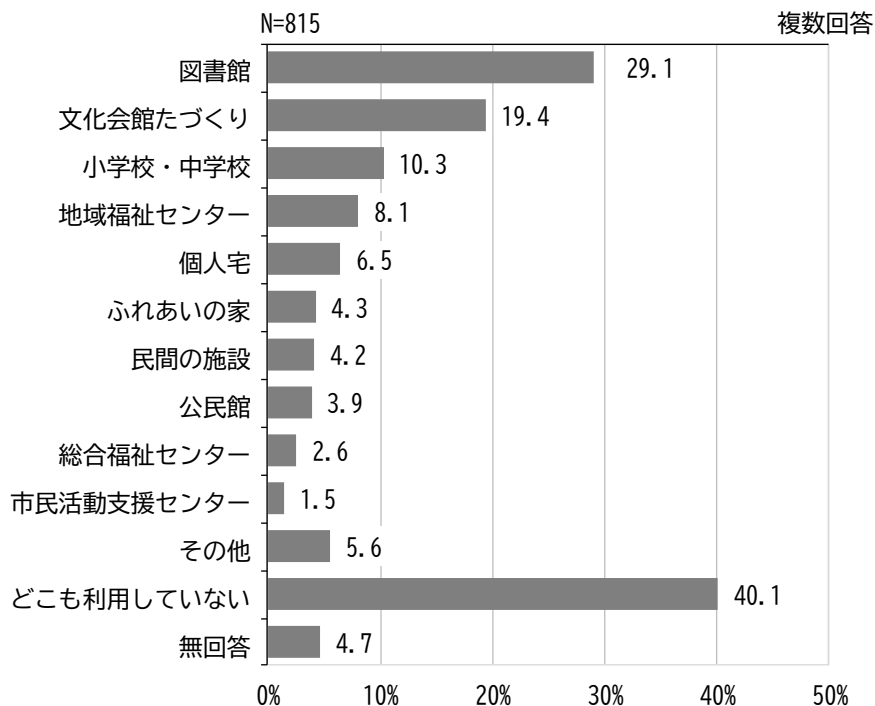
<「取り組みたい、興味がある」の割合>

各項目1位に網掛		子育て世帯や青少年を支援する活動	高齢者を支援する活動	障害のある人を支援する活動	お祭りや運動会などのレクリエーション活動、地域の伝統や文化を伝える活動	交通安全や犯罪防止など、地域の安全を守る活動	防災訓練や災害時に救援・支援をする活動	地域の環境美化、環境保全・自然保護などの活動	自治会・地区協議会・老人クラブなどの活動	趣味・習いごとなどの活動	
全	体	(N=815)	15.1	21.2	19.8	24.0	22.5	35.6	31.0	13.3	38.9
性別	男性	(n=353)	14.4	17.8	16.7	26.1	26.1	35.7	31.7	14.4	33.4
	女性	(n=435)	16.1	24.8	22.8	23.7	20.2	36.3	14.3	13.1	43.0
	回答しない	(n=14)	7.1	14.3	14.3	7.1	14.3	28.6	7.7	0.0	64.3
年代別	10歳代	(n=9)	11.1	22.2	15.9	31.8	20.5	36.4	25.0	9.1	44.4
	20歳代	(n=44)	13.6	20.5	15.9	31.8	20.5	36.4	25.0	9.1	38.6
	30歳代	(n=115)	33.0	22.6	20.9	40.9	27.8	45.2	30.4	12.2	44.3
	40歳代	(n=138)	23.9	25.4	26.1	33.3	33.3	42.8	39.1	10.9	41.3
	50歳代	(n=167)	10.8	26.9	25.7	22.8	24.0	44.9	35.3	15.6	38.3
	60歳代	(n=136)	9.6	19.9	19.9	17.6	19.1	34.6	32.4	14.0	44.9
	70歳代	(n=117)	6.8	19.7	13.7	16.2	21.4	25.6	29.9	18.8	35.9
	80歳以上	(n=78)	6.4	7.7	5.1	6.4	5.1	7.7	14.1	9.0	23.1
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂	(n=102)	20.6	23.5	23.5	24.5	23.5	38.2	32.4	11.8	41.2
	若葉・調和	(n=98)	11.2	18.4	18.4	22.4	23.5	36.7	29.6	17.3	38.8
	上ノ原・柏野	(n=73)	20.5	21.9	20.5	26.0	30.1	39.7	34.2	13.7	41.1
	北ノ台・深大寺	(n=87)	12.6	21.8	18.4	19.5	18.4	34.5	31.0	10.3	39.1
	第二・八雲台・国領	(n=112)	10.7	20.5	19.6	21.4	15.2	26.8	26.8	8.9	36.6
	染地・杉森・布田	(n=92)	15.2	16.3	13.0	26.1	21.7	32.6	21.7	14.1	44.6
	第一・富士見台・多摩川	(n=117)	17.9	22.2	18.8	27.4	24.8	41.0	35.9	14.5	35.0
	第三・石原・飛田給	(n=120)	14.2	25.8	25.0	26.7	25.0	38.3	37.5	15.8	38.3

問 12 あなたが身近な活動拠点として利用している施設や場所はどこですか。(いくつかでも○)

- 利用している身近な拠点は、「どこも利用していない (40.1%)」が最も多く、「図書館 (29.1%)」「文化会館たづくり (19.4%)」,「小学校・中学校 (10.3%)」が続いている。

図表_市民/身近な活動拠点の利用状況 (全体)



【回答者属性分析】

- 利用している身近な拠点の割合を性・年代別にみると、女性・30～49歳で「図書館」、それ以外の区分で「どこも利用していない」が最も多くなっている。また、男性・18～29歳で「個人宅」が2割近く、それ以外の区分で「図書館」が2割～3割台となっている。女性・70歳以上で「地域福祉センター」が2割を超えている。
- 福祉圏域別にみると、上ノ原・柏野小学校地域で「図書館」、それ以外の地域で「どこも利用していない」が最も多くなっている。第一・富士見台・多摩川小学校地域で「図書館」と「どこも利用していない」が同率の数値となっている。また、「どこも利用していない」を除くと、すべての地域で「図書館」、「文化会館たづくり」の割合が多くなっている。

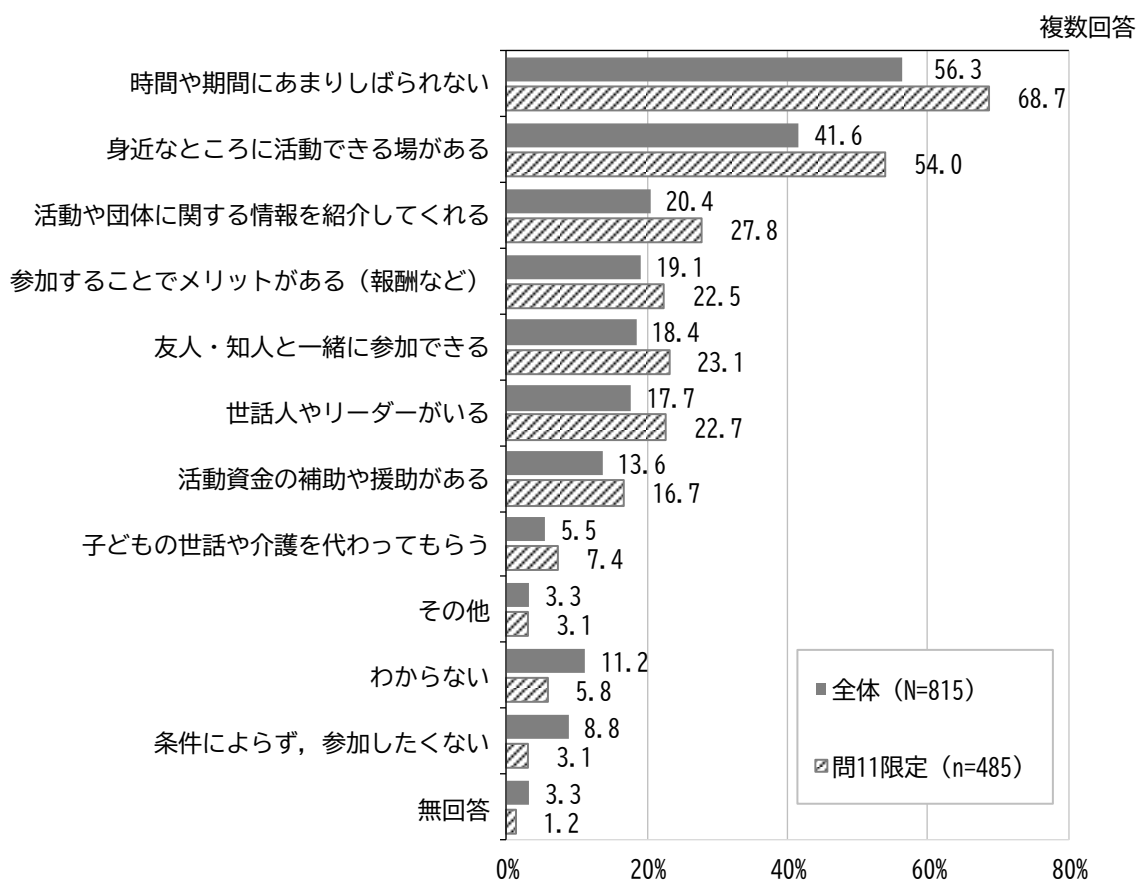
図表_市民/身近な活動拠点の利用状況(性・年代別, 福祉圏域別) (%)

各項目1位に網掛		文化会館たづくり	地域福祉センター	総合福祉センター	市民活動支援センター	ふれあいの家	公民館	図書館	小学校・中学校	民間の施設	個人宅	その他	どこも利用していない	無回答	
全	体	(N=815)	19.4	8.1	2.6	1.5	4.3	3.9	29.1	10.3	4.2	6.5	5.6	40.1	4.7
性・年代別	男性	18～29歳 (n=26)	11.5	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	11.5	7.7	3.8	19.2	3.8	50.0	0.0
		30～49歳 (n=104)	13.5	3.8	1.9	0.0	4.8	1.9	27.9	13.5	1.9	6.7	3.8	50.0	1.9
		50～69歳 (n=134)	15.7	5.2	1.5	1.5	2.2	2.2	26.1	5.2	2.2	4.5	5.2	47.8	4.5
		70歳以上 (n=89)	19.1	4.5	2.2	2.2	5.6	4.5	25.8	0.0	1.1	3.4	4.5	38.2	11.2
	女性	18～29歳 (n=25)	20.0	0.0	4.0	0.0	4.0	8.0	32.0	4.0	4.0	12.0	0.0	56.0	0.0
		30～49歳 (n=144)	25.0	7.6	1.4	0.0	4.9	2.8	36.8	26.4	5.6	9.0	4.9	29.9	1.4
		50～69歳 (n=161)	22.4	7.5	2.5	2.5	4.3	5.0	31.7	9.9	7.5	5.0	8.1	37.3	3.7
		70歳以上 (n=105)	21.0	25.7	7.6	2.9	6.7	8.6	25.7	3.8	5.7	5.7	8.6	31.4	9.5
福祉圏域別(小学校区)	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	14.7	8.8	2.0	2.0	2.9	3.9	23.5	7.8	2.9	5.9	4.9	46.1	5.9	
	若葉・調和 (n=98)	12.2	10.2	1.0	1.0	5.1	4.1	31.6	10.2	3.1	5.1	7.1	43.9	1.0	
	上ノ原・柏野 (n=73)	21.9	6.8	1.4	0.0	11.0	9.6	28.8	12.3	5.5	8.2	12.3	24.7	4.1	
	北ノ台・深大寺 (n=87)	17.2	16.1	2.3	1.1	5.7	2.3	24.1	10.3	3.4	3.4	3.4	40.2	9.2	
	第二・八雲台・国領 (n=112)	17.0	3.6	0.0	2.7	3.6	3.6	32.1	3.6	1.8	5.4	8.0	43.8	6.3	
	染地・杉森・布田 (n=92)	29.3	9.8	5.4	2.2	4.3	3.3	28.3	17.4	8.7	6.5	3.3	35.9	2.2	
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	26.5	5.1	5.1	1.7	2.6	2.6	35.0	11.1	6.0	8.5	4.3	35.0	6.0	
	第三・石原・飛田給 (n=120)	17.5	7.5	3.3	0.0	2.5	4.2	26.7	11.7	2.5	7.5	4.2	46.7	1.7	

問13 どのような条件であれば、地域活動・ボランティア活動に参加・活動しやすいですか。(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件は、「時間や期間にあまりしぼられない(56.3%)」が最も多く、「身近なところに活動できる場がある(41.6%)」、「活動や団体に関する情報を紹介してくれる(20.4%)」が続いている。
- 問11①の活動にひとつでも「取り組んでいない」人、かつ、問11②の活動にひとつでも「興味あり」と回答した人に限定してみると、「時間や期間にあまりしぼられない(68.7%)」、「身近なところに活動できる場がある(54.0%)」が、全体と比べて、それぞれ12.4ポイント高く、差が最も大きくなっている。

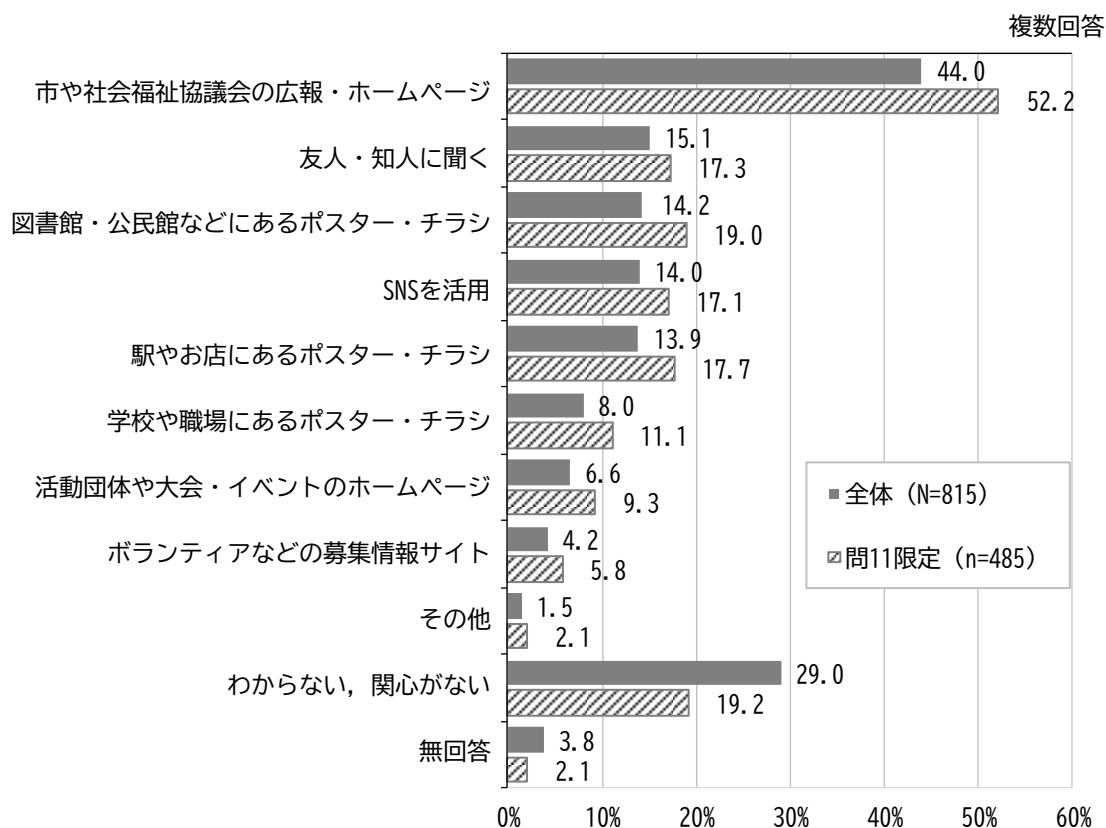
図表_市民/地域活動・ボランティア活動に参加しやすい条件(全体, 問11①②限定)



問 14 地域活動・ボランティア活動の情報をどのような方法で探しますか。(いくつかでも○)

- 地域活動・ボランティア活動の情報を探す方法は、「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ(44.0%)」が最も多く、「わからない, 関心がない(29.0%)」, 「友人・知人に聞く(15.1%)」, 「図書館・公民館などにあるポスター・チラシ(14.2%)」が続いている。
- 問 11①の活動にひとつでも「取り組んでいない」人, かつ, 問 11②の活動にひとつでも「興味あり」と回答した人に限定してみると, 「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ(52.2%)」が, 全体と比べて, 8.2ポイント高い数値となっている。

図表_市民/地域活動・ボランティア活動の情報を探す方法(全体, 問 11①②限定)



【回答者属性分析】

- 地域活動・ボランティア活動の情報を探す方法の割合を性別にみると、男性、女性、回答しないとも「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ」が最も多くなっている。
- 年代別にみると、20歳代で「わからない、関心がない」、それ以外の年代では「市や社会福祉協議会の広報・ホームページ」が最も多くなっている。また、10歳代から30歳代で「SNSを活用」が3割前後と多くなっている。

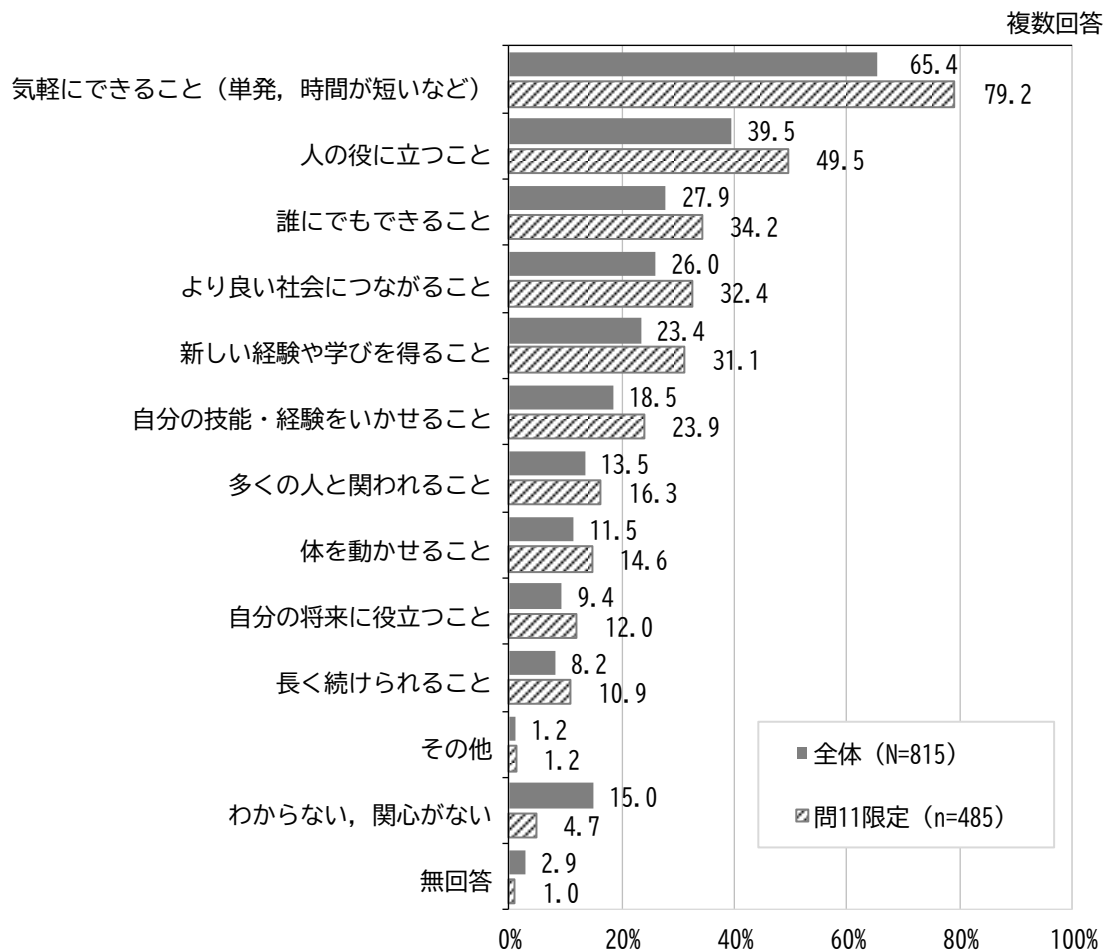
図表_市民/地域活動・ボランティア活動の情報を探す方法（性別，年代別）（％）

各項目1位に網掛		報市 ・や ホーム 社会 福祉 協議 会 の 広 報 ・ ホ ー ム ペ ー ジ	図 書 館 ・ 公 民 館 な ど に あ る チ ラ シ	学 校 や 職 場 に あ る ポ ス ター ・ チ ラ シ	駅 や お 店 に あ る ポ ス ター ・ チ ラ シ	情 報 ポ ラ ン テ ィ ア な ど の 募 集 サ イ ト	活 動 団 体 や 大 会 ・ イ ベ ン ト の ホ ー ム ペ ー ジ	S N S を 活 用	友 人 ・ 知 人 に 聞 く	そ の 他	わ か ら な い 、 関 心 が な い	無 回 答
全	体 (N=815)	44.0	14.2	8.0	13.9	4.2	6.6	14.0	15.1	1.5	29.0	3.8
性 別	男性 (n=353)	39.7	13.0	5.4	13.0	4.0	9.3	12.5	10.8	1.4	35.7	3.4
	女性 (n=435)	48.0	15.2	10.1	14.9	4.4	4.8	14.7	19.3	1.6	23.4	3.9
	回答しない (n=14)	57.1	14.3	7.1	7.1	7.1	0.0	28.6	0.0	0.0	28.6	0.0
年 代 別	10歳代 (n=9)	44.4	11.1	33.3	33.3	11.1	0.0	33.3	0.0	0.0	11.1	0.0
	20歳代 (n=44)	29.5	18.2	6.8	27.3	2.3	4.5	29.5	13.6	0.0	38.6	2.3
	30歳代 (n=115)	35.7	18.3	14.8	21.7	2.6	7.0	29.6	11.3	0.0	28.7	0.9
	40歳代 (n=138)	37.0	16.7	15.9	15.2	4.3	2.2	14.5	12.3	1.4	36.2	1.4
	50歳代 (n=167)	52.7	12.0	7.8	13.8	4.2	10.2	16.2	12.6	1.2	26.3	1.8
	60歳代 (n=136)	56.6	14.0	2.9	13.2	6.6	11.0	8.8	16.9	2.9	22.8	2.2
	70歳代 (n=117)	47.9	10.3	0.9	6.0	3.4	4.3	2.6	21.4	1.7	29.1	5.1
	80歳以上 (n=78)	34.6	14.1	1.3	3.8	3.8	5.1	0.0	21.8	2.6	29.5	16.7

問 15 あなたが地域活動・ボランティア活動に参加する場合、どのような点を重視しますか。(いくつでも○)

- 地域活動・ボランティア活動に参加する場合に重視する点は、「気軽にできること(単発, 時間が短いなど)(65.4%)」が最も多く, 「人の役に立つこと(39.5%)」, 「誰にでもできること(27.9%)」が続いている。
- 問 11①の活動にひとつでも「取り組んでいない」人, かつ, 問 11②の活動にひとつでも「興味あり」と回答した人に限定してみると, 全体と比べて「気軽にできること(単発, 時間が短いなど)(79.2%)」が13.8ポイント, 「人の役に立つこと(49.5%)」が10.0ポイント高い数値となっている。

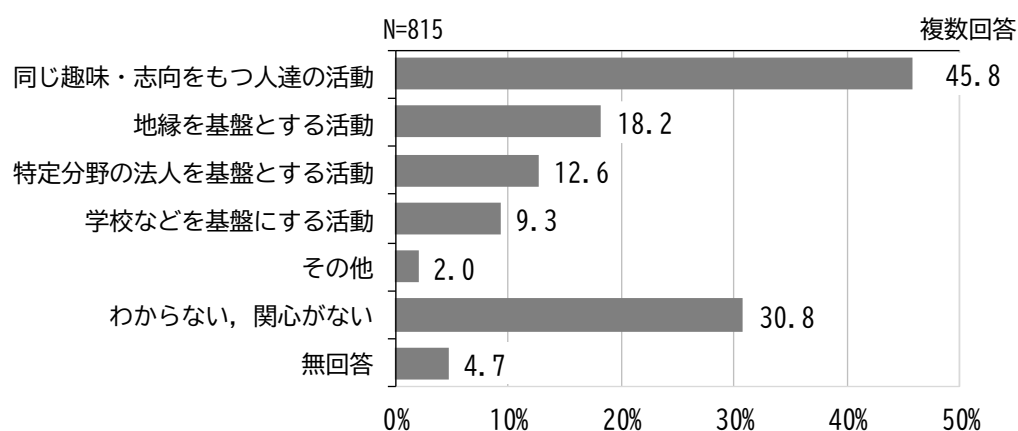
図表_市民/地域活動・ボランティア活動に参加する場合に重視する点(全体, 問 11①②限定)



問 16 近年, さまざまな主体による地域活動が行われています。あなたが参加しやすい活動は何ですか。(いくつでも○)

- 参加しやすい活動の種類は, 「同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)(45.8%)」が最も多く, 「わからない, 関心がない(30.8%)」, 「地縁を基盤とする活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)(18.2%)」, 「特定分野の法人を基盤とする活動(NPO 法人・社会福祉法人など)(12.6%)」が続いている。

図表_市民/参加しやすい地域活動の種類(全体)



(選択肢の補足説明)

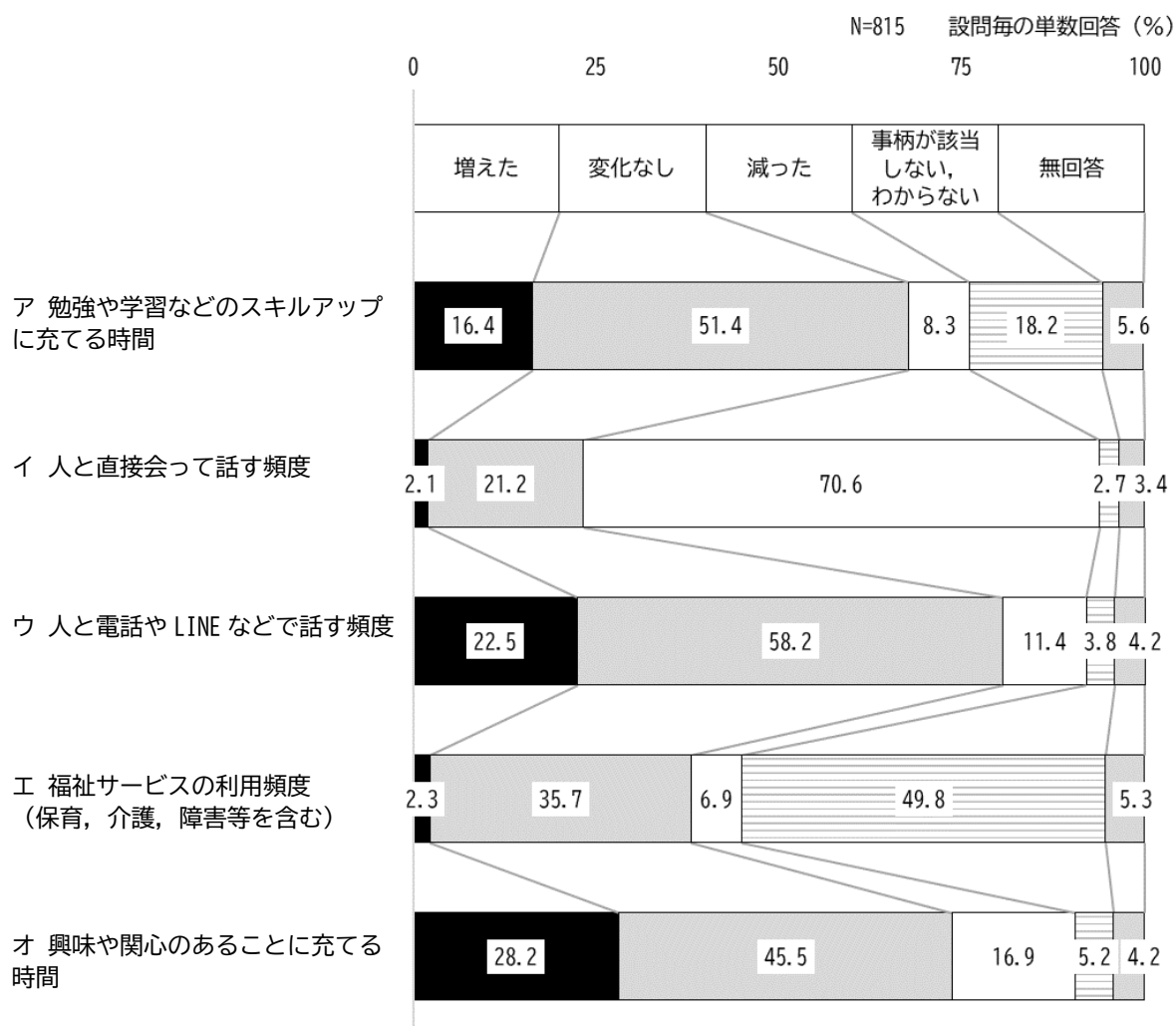
- ・ 同じ趣味・志向をもつ人達の活動(趣味の同好会・教室・子育てサークルなど)
- ・ 地縁を基盤とする活動(自治会・地区協議会・老人クラブ・マンション管理組合など)
- ・ 特定分野の法人を基盤とする活動(NPO 法人・社会福祉法人など)
- ・ 学校などを基盤にする活動(保護者会・PTA・おやじの会など)

4 暮らしのことについておたずねします

問 17 新型コロナウイルス感染症の流行により、あなたの暮らしにどのような影響がありましたか（影響があった時期は問いません）。（それぞれ1つに○）

- 新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響について、「増えた」の割合は、『興味や関心のあることに充てる時間（28.2%）』が最も多く、『人と電話やLINEなどで話す頻度（22.5%）』、『勉強や学習などのスキルアップに充てる時間（16.4%）』が続いている。
- 一方、「減った」の割合は、『人と直接会って話す頻度（70.6%）』が最も多くなっている。

図表_市民/新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響（全体）



【回答者属性分析】

- 新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響について、「増えた」の割合を性別にみると、男性、女性、回答しないとも、『興味や関心のあることに充てる時間』が最も多く、『人と電話やLINEなどで話す頻度』が続いている。
- 年代別にみると、30歳代、70歳代、80歳以上で『人と電話やLINEなどで話す頻度』が最も多く、それ以外の年代は『興味や関心のあることに充てる時間』が最も多くなっている。また、20歳代で『勉強や学習などのスキルアップに充てる時間』が全体と比べて20ポイント高い数値となっている。

図表_市民／新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響（性別、年代別）（％）

<「増えた」の割合>

各項目1位に網掛			勉強や学習などのスキルアップに充てる時間	人と直接会って話す頻度	人と電話やLINEなどで話す頻度	福祉サービスの利用頻度（保育、介護、障害等を含む）	興味や関心のあることに充てる時間
全	体	(N=815)	16.4	2.1	22.5	2.3	28.2
性別	男性	(n=353)	15.9	2.3	19.8	2.0	28.6
	女性	(n=435)	17.2	1.8	24.8	2.5	27.8
	回答しない	(n=14)	14.3	0.0	21.4	7.1	35.7
年代別	10歳代	(n=9)	33.3	0.0	55.6	0.0	66.7
	20歳代	(n=44)	36.4	2.3	36.4	2.3	47.7
	30歳代	(n=115)	19.1	1.7	33.9	4.3	33.0
	40歳代	(n=138)	19.6	2.9	20.3	2.9	31.2
	50歳代	(n=167)	16.8	1.8	16.8	1.2	32.3
	60歳代	(n=136)	17.6	0.0	22.8	2.2	25.7
	70歳代	(n=117)	9.4	3.4	21.4	1.7	19.7
	80歳以上	(n=78)	2.6	2.6	12.8	2.6	9.0

- 新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響について、「減った」の割合を性別にみると、男性、女性、回答しないとも、『人と直接会って話す頻度』が最も多くなっている。
- 年代別にみると、すべての年代で『人と直接会って話す頻度』が最も多くなっている。70歳代で『興味や関心のあることに充てる時間』が2割を超えている。

図表_市民／新型コロナウイルス感染症の流行による暮らしへの影響（性別，年代別）（％）

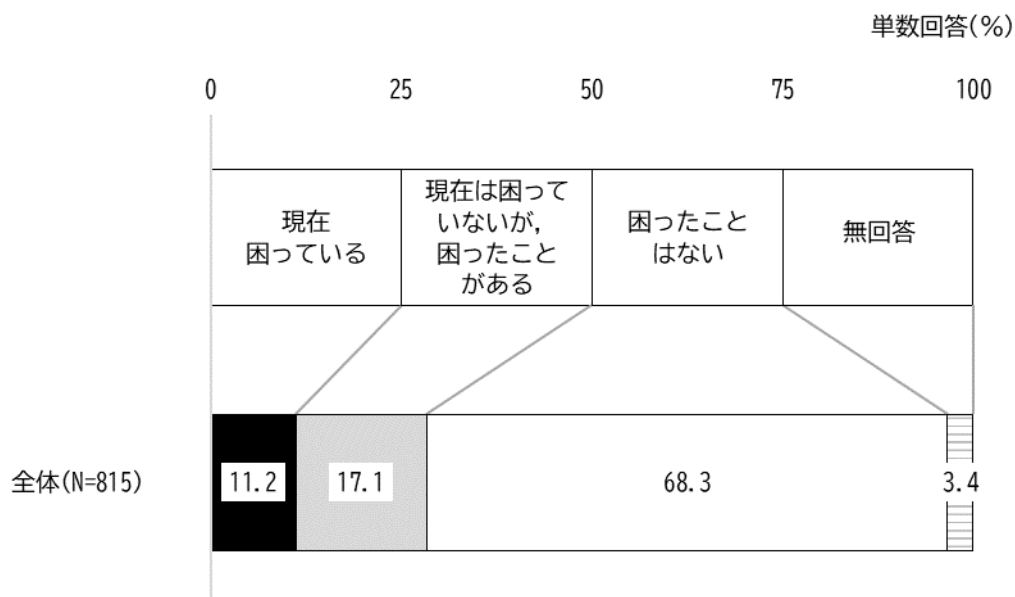
<「減った」の割合>

各項目1位に網掛		に勉強や学習などのスキルアップ	人と直接会って話す頻度	人と電話やLINEなどで話す頻度	福祉サービスの利用頻度（保育、介護、障害等を含む）	興味や関心のあることに充てる時間
全	体 (N=815)	8.3	70.6	11.4	6.9	16.9
性別	男性 (n=353)	6.2	63.7	9.1	5.1	15.6
	女性 (n=435)	10.3	76.8	13.3	8.3	18.6
	回答しない (n=14)	7.1	78.6	7.1	7.1	0.0
年代別	10歳代 (n=9)	33.3	55.6	0.0	11.1	11.1
	20歳代 (n=44)	2.3	68.2	6.8	2.3	11.4
	30歳代 (n=115)	6.1	75.7	7.0	7.8	15.7
	40歳代 (n=138)	10.9	79.0	13.0	12.3	17.4
	50歳代 (n=167)	4.8	74.9	12.0	5.4	10.2
	60歳代 (n=136)	7.4	77.9	11.0	4.4	19.9
	70歳代 (n=117)	14.5	59.0	12.8	7.7	25.6
80歳以上 (n=78)	9.0	51.3	15.4	3.8	19.2	

問 18 これまでに経済的に困った経験がありますか。(1つに○)

- 経済的な理由で困った経験は、「困ったことはない(68.3%)」が最も多くなっている。
- 「現在困っている(11.2%)」と「現在は困っていないが、困ったことがある(17.1%)」を合わせた『困ったことがある』は28.3%である。

図表_市民/経済的な理由で困った経験(全体)



【回答者属性分析】

- 経済的な理由で困った経験の割合を年代別にみると、すべての年代で「困ったことはない」が最も多くなっている。また、20歳代から50歳代で『困ったことがある』*が3割を超えている。
- 福祉圏域別にみると、すべての地域で「困ったことはない」が最も多くなっている。また、緑ヶ丘・滝坂小学校地域、若葉・調和小学校地域、第二・八雲台・国領小学校地域で『困ったことがある』*が3割を超えている。
- 住居形態別にみると、民間賃貸(一戸建て)で「現在困っている」と「困ったことはない」、それ以外の区分で「困ったことはない」が最も多くなっている。また、民間賃貸(一戸建て)、民間賃貸(集合住宅)、公営住宅(市営・都営住宅等)で『困ったことがある』*が4割を超えている。

*「現在困っている」と「現在は困っていないが、困ったことがある」の合計

図表_市民／経済的な理由で困った経験（年代別，福祉圏域別，住居形態別）（％）

各項目1位に網掛		現在困っている	現在は困っていないが、困ったことがある	困ったことはない	無回答	『困ったことがある』	『困ったことはない』
全	体 (N=815)	11.2	17.1	68.3	3.4	28.3	68.3
年代別	10歳代 (n=9)	11.1	0.0	77.8	11.1	11.1	77.8
	20歳代 (n=44)	15.9	18.2	63.6	2.3	34.1	63.6
	30歳代 (n=115)	13.0	17.4	69.6	0.0	30.4	69.6
	40歳代 (n=138)	9.4	25.4	64.5	0.7	34.8	64.5
	50歳代 (n=167)	12.0	23.4	63.5	1.2	35.4	63.5
	60歳代 (n=136)	8.8	11.8	76.5	2.9	20.6	76.5
	70歳代 (n=117)	12.0	12.0	69.2	6.8	24.0	69.2
	80歳以上 (n=78)	11.5	7.7	70.5	10.3	19.2	70.5
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	8.8	21.6	64.7	4.9	30.4	64.7
	若葉・調和 (n=98)	15.3	17.3	66.3	1.0	32.6	66.3
	上ノ原・柏野 (n=73)	12.3	16.4	68.5	2.7	28.7	68.5
	北ノ台・深大寺 (n=87)	16.1	10.3	72.4	1.1	26.4	72.4
	第二・八雲台・国領 (n=112)	11.6	18.8	63.4	6.3	30.4	63.4
	染地・杉森・布田 (n=92)	9.8	12.0	71.7	6.5	21.8	71.7
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	12.0	16.2	70.1	1.7	28.2	70.1
	第三・石原・飛田給 (n=120)	6.7	21.7	70.8	0.8	28.4	70.8
住居形態別	持ち家（一戸建て） (n=368)	9.5	12.8	75.5	2.2	22.3	75.5
	持ち家（集合住宅） (n=203)	8.4	15.8	71.9	3.9	24.2	71.9
	民間賃貸（一戸建て） (n=8)	37.5	25.0	37.5	0.0	62.5	37.5
	民間賃貸（集合住宅） (n=167)	15.6	25.7	54.5	4.2	41.3	54.5
	公営住宅（市営・都営住宅等） (n=43)	23.3	23.3	46.5	7.0	46.6	46.5
	社宅・公務員住宅等 (n=7)	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	100.0
	上記以外 (n=10)	0.0	30.0	60.0	10.0	30.0	60.0

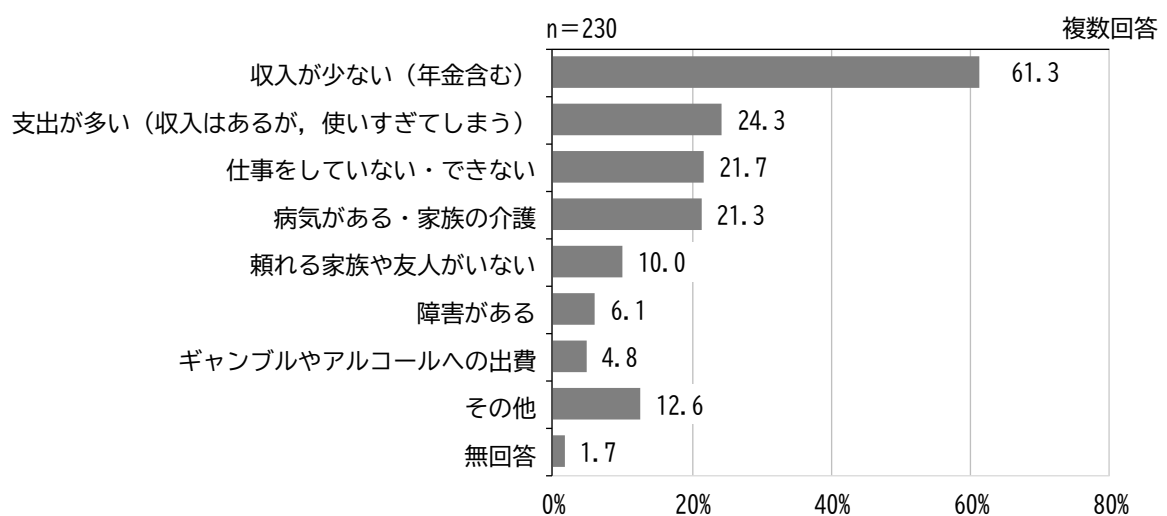
付問 問18で「1～2（困っている、困ったことがある）」と答えた人におたずねします。 困っている（困った）原因は何ですか。（いくつでも○）

- 『困ったことがある』※と回答した人の経済的に困っている理由は、「収入が少ない（年金含む）（61.3%）」が最も多く、「支出が多い（収入はあるが、使いすぎてしまう）（24.3%）」、「仕事をしていない・できない（21.7%）」が続いている。

※「現在困っている」と「現在は困っていないが、困ったことがある」の合計

図表_市民/経済的に困っている理由（全体）

<経済的な理由で困った経験で「現在困っている」、「現在は困っていないが、困ったことがある」と回答した人>



【回答者属性分析】

- 経済的に困っている理由の割合を年代別にみると、すべての年代で「収入が少ない（年金含む）」が最も多くなっている。また、20歳代、50歳代で支出が多い（収入はあるが、使いすぎてしまう）」が4割を超えている。

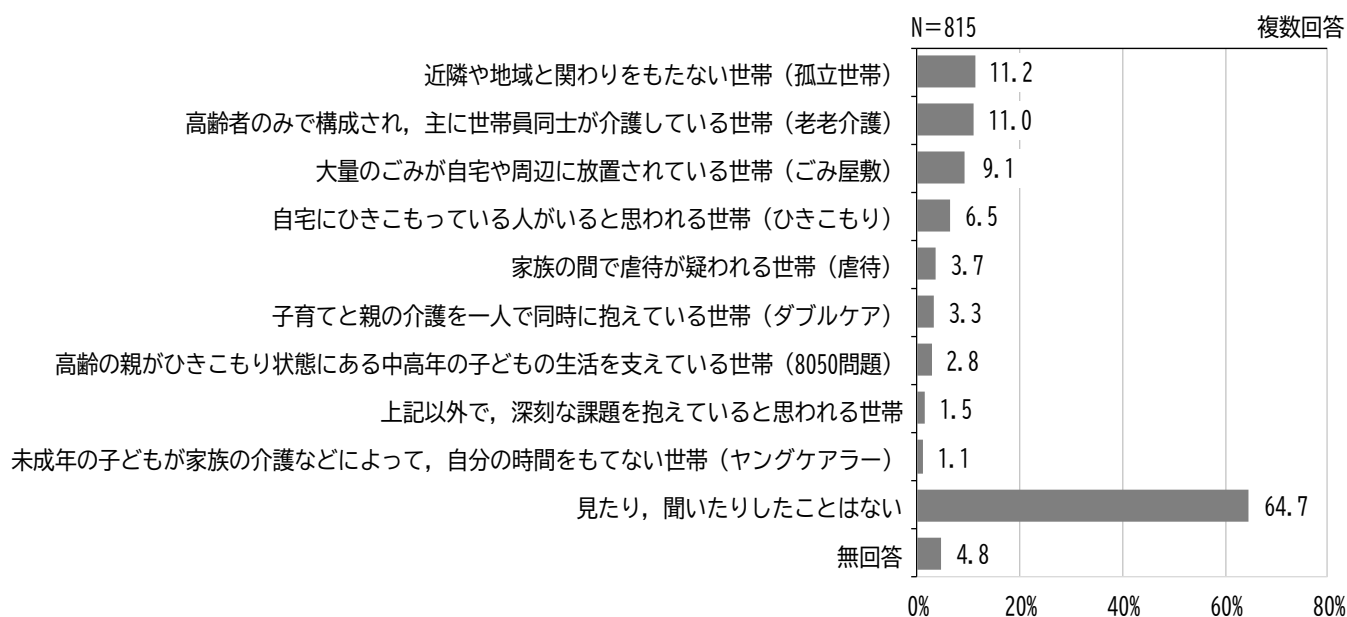
図表_市民/経済的に困っている理由（年代別）（%）

各項目1位に網掛		い仕 ・事 でき しな てい いな	金収 含入 むが 少な い（ 年	が頼 いれ なる い家 族や 友人	の病 介気 護が ある ・家 族	障 害が ある	ぎは支 てあ出 しるが まが多 う、い 使（ い収 す入	コギ ーラン ブル への 出費 やア ル	そ の 他	無 回 答
全	体 (n=230)	21.7	61.3	10.0	21.3	6.1	24.3	4.8	12.6	1.7
年 代 別	10歳代 (n=1)	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=15)	33.3	46.7	13.3	6.7	20.0	40.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代 (n=35)	20.0	57.1	11.4	11.4	5.7	37.1	2.9	22.9	2.9
	40歳代 (n=48)	25.0	50.0	10.4	16.7	8.3	16.7	4.2	18.8	4.2
	50歳代 (n=59)	13.6	59.3	5.1	32.2	5.1	40.7	8.5	10.2	0.0
	60歳代 (n=28)	35.7	67.9	3.6	25.0	3.6	7.1	3.6	10.7	0.0
	70歳代 (n=28)	17.9	82.1	21.4	25.0	3.6	10.7	3.6	3.6	3.6
	80歳以上 (n=15)	13.3	73.3	13.3	20.0	0.0	0.0	6.7	13.3	0.0

問 19 あなたの地域で次のような世帯を見たり、聞いたりしたことがありますか。
(いくつでも○)

- 複雑な課題を抱えた世帯の見聞状況は、「見たり、聞いたりしたことはない(64.7%)」が最も多く、「近隣や地域と関わりをもたない世帯(孤立世帯)(11.2%)」、「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯(老老介護)(11.0%)」が続いている。

図表_市民/複雑な課題を抱えた世帯の見聞状況(全体)



【回答者属性分析】

- 複雑な課題を抱えた世帯の見聞状況の割合を福祉圏域別にみると、すべての地域で「見たり、聞いたりしたことはない」が最も多くなっている。また、「見たり、聞いたりしたことはない」を除くと、「近隣や地域と関わりをもたない世帯（孤立世帯）」、「高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯（老老介護）」、「大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯（ごみ屋敷）」が1割を超えている福祉圏域もみられる。

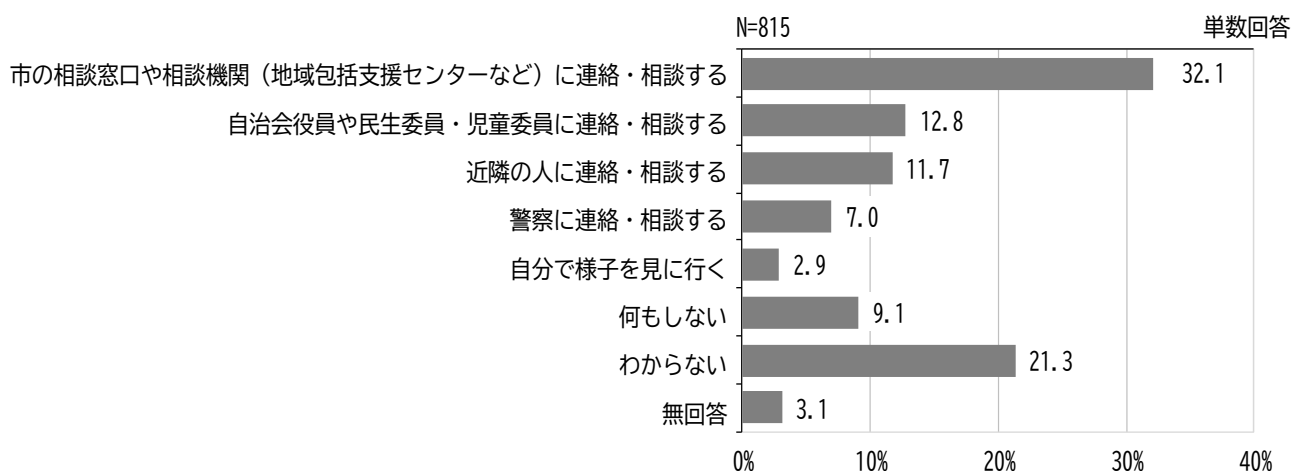
図表_市民／複雑な課題を抱えた世帯の見聞状況（福祉圏域別）（％）

		大量のごみが自宅や周辺に放置されている世帯（ごみ屋敷）	高齢者のみで構成され、主に世帯員同士が介護している世帯（老老介護）	近隣や地域と関わりをもたない世帯（孤立世帯）	自宅にひきこもっている人がいると思われる世帯（ひきこもり）	高齢の親がひきこもり状態にある中高年の子どもが生活を支えている世帯（8050問題）	子育てと親の介護を一人で同時に抱えている世帯（ダブルケア）	未成年の子どもが家族の介護などによつて、自分の時間をもてない世帯（ヤングケアラー）	家族の間で虐待が疑われる世帯（虐待）	上記以外で、深刻な課題を抱えていると思われる世帯	見たり、聞いたりしたことはない	無回答	
全	体	(N=815)	9.1	11.0	11.2	6.5	2.8	3.3	1.1	3.7	1.5	64.7	4.8
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂	(n=102)	10.8	11.8	11.8	4.9	1.0	3.9	1.0	4.9	1.0	62.7	3.9
	若葉・調和	(n=98)	13.3	11.2	12.2	7.1	4.1	2.0	2.0	1.0	1.0	62.2	6.1
	上ノ原・柏野	(n=73)	6.8	12.3	16.4	8.2	2.7	4.1	1.4	5.5	1.4	63.0	6.8
	北ノ台・深大寺	(n=87)	8.0	8.0	12.6	8.0	4.6	4.6	1.1	4.6	0.0	66.7	4.6
	第二・八雲台・国領	(n=112)	8.0	10.7	4.5	3.6	3.6	3.6	0.9	4.5	2.7	68.8	6.3
	染地・杉森・布田	(n=92)	5.4	16.3	16.3	7.6	3.3	3.3	0.0	2.2	2.2	60.9	4.3
	第一・富士見台・多摩川	(n=117)	8.5	10.3	12.0	4.3	1.7	4.3	0.9	4.3	2.6	65.0	4.3
第三・石原・飛田給	(n=120)	10.8	10.0	8.3	7.5	1.7	0.8	1.7	2.5	0.8	69.2	0.0	

問 20 近所に近隣と関わりをもたず、何らかの支援が必要と思われる世帯を発見した場合、あなたはどのように行動しますか。(1つに○)

- 近隣と関わりをもたず、何らかの支援が必要と思われる世帯を発見した場合の行動は、「市の相談窓口や相談機関（地域包括支援センターなど）に連絡・相談する（32.1%）」が最も多く、「わからない（21.3%）」、「自治会役員や民生委員・児童委員に連絡・相談する（12.8%）」、「近隣の人に連絡・相談する（11.7%）」が続いている。

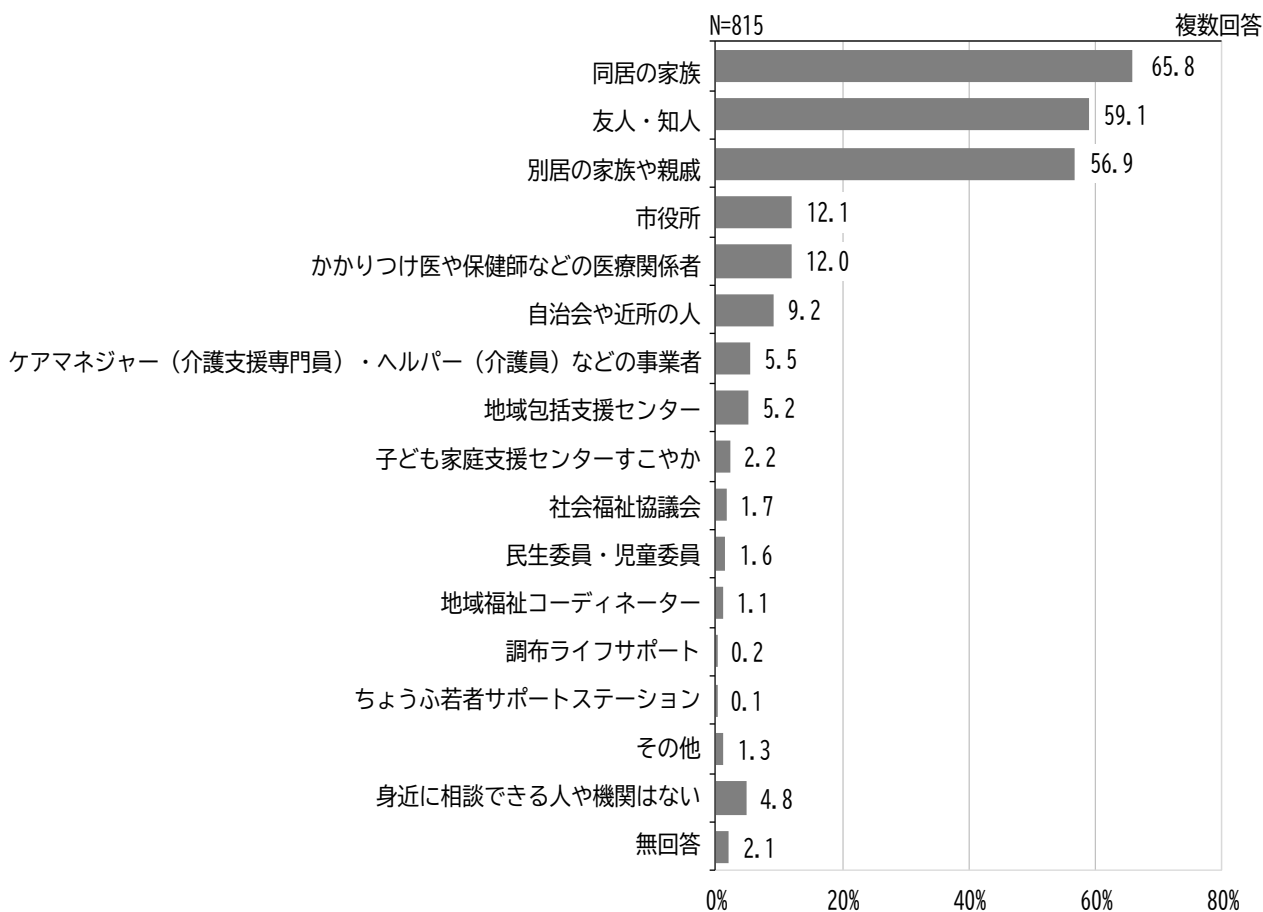
図表 市民／近隣と関わりをもたず、何らかの支援が必要と思われる世帯を発見した場合の行動（全体）



問 21 日常生活での困りごとを相談できる人や機関はありますか。(いくつでも○)

- 困ったときの身近な相談相手(人・機関)は、「同居の家族(65.8%)」が最も多く、「友人・知人(59.1%)」,「別居の家族や親戚(56.9%)」と続いている。

図表_市民/困ったときの身近な相談相手(人・機関)(全体)



【回答者属性分析】

- 困ったときの身近な相談相手（人・機関）の割合を性・年代別にみると女性・18～29歳で「友人・知人」，女性・70歳以上で「別居の家族や親戚」，それ以外の区分で「同居の家族」が最も多くなっている。
- 福祉圏域別にみると，第二・八雲台・国領小学校地域で「別居の家族や親戚」，それ以外の地域で「同居の家族」が最も多くなっている。若葉・調和小学校地域で「同居の家族」と「別居の家族や親戚」が同率の数値となっている。
- 家族構成別にみると，ひとり暮らしで「別居の家族や親戚」，その他で「同居の家族」が最も多くなっている。また，ひとり暮らし，その他で「市役所」，「かかりつけ医や保健師などの医療関係者」は1割台となっている。

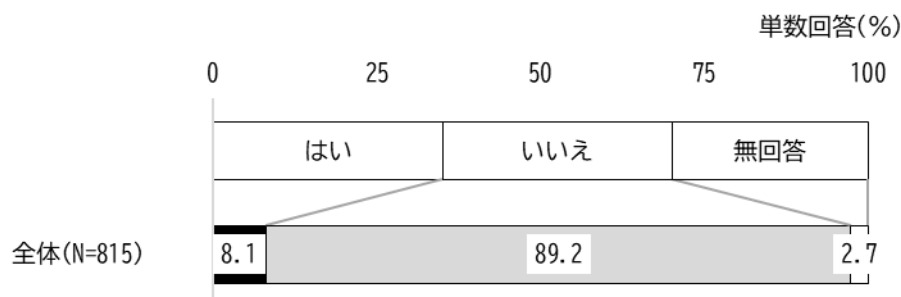
図表 市民／困ったときの身近な相談相手（人・機関）（性・年代別，福祉圏域別，家族構成別）（％）

		同居の家族	別居の家族や親戚	自治会や近所の人	友人・知人	民生委員・児童委員	地域福祉コーディネーター	ケアマネジャー（介護支援専門員）・ヘルパー（介護員）などの事業者	かかりつけ医や保健師などの医療関係者	市役所	社会福祉協議会	地域包括支援センター	ちようふ若者サポートステーション	子ども家庭支援センターすこやか	調布ライフサポート	その他	身近に相談できる人や機関はない	無回答	
各項目1位に網掛																			
全 体 (N=815)		65.8	56.9	9.2	59.1	1.6	1.1	5.5	12.0	12.1	1.7	5.2	0.1	2.2	0.2	1.3	4.8	2.1	
性・年代別	男性	18～29歳 (n=26)	88.5	42.3	0.0	80.8	0.0	3.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	3.8	0.0	0.0
		30～49歳 (n=104)	68.3	55.8	2.9	59.6	0.0	0.0	1.9	5.8	6.7	1.9	0.0	0.0	2.9	1.0	1.0	4.8	1.0
		50～69歳 (n=134)	64.9	50.0	13.4	47.8	1.5	1.5	5.2	14.9	17.9	2.2	3.7	0.0	1.5	0.0	2.2	5.2	2.2
		70歳以上 (n=89)	57.3	50.6	16.9	44.9	3.4	0.0	12.4	13.5	11.2	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0	0.0	7.9	5.6
	女性	18～29歳 (n=25)	68.0	48.0	4.0	84.0	0.0	4.0	0.0	16.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0	0.0	0.0	4.0	0.0
		30～49歳 (n=144)	70.8	68.1	3.5	67.4	0.0	0.0	0.7	11.1	13.9	0.0	0.7	0.0	7.6	0.0	4.2	4.2	1.4
		50～69歳 (n=161)	74.5	62.7	8.1	66.5	2.5	1.9	7.5	14.3	13.0	3.1	8.7	0.6	0.0	0.0	0.0	3.7	0.6
	70歳以上 (n=105)	44.8	58.1	17.1	55.2	3.8	1.9	10.5	19.0	10.5	3.8	15.2	0.0	1.0	1.0	0.0	5.7	1.9	
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	66.7	54.9	8.8	54.9	1.0	2.0	5.9	22.5	14.7	1.0	4.9	0.0	3.9	0.0	0.0	5.9	2.9	
	若葉・調和 (n=98)	60.2	60.2	9.2	59.2	5.1	2.0	5.1	13.3	11.2	1.0	7.1	0.0	2.0	1.0	0.0	5.1	3.1	
	上ノ原・柏野 (n=73)	67.1	50.7	8.2	63.0	0.0	1.4	6.8	15.1	13.7	1.4	5.5	0.0	2.7	0.0	2.7	0.0	5.5	
	北ノ台・深大寺 (n=87)	67.8	58.6	11.5	57.5	1.1	0.0	4.6	8.0	5.7	1.1	3.4	0.0	2.3	0.0	2.3	6.9	2.3	
	第二・八雲台・国領 (n=112)	57.1	58.0	6.3	56.3	0.9	0.0	6.3	14.3	9.8	1.8	6.3	0.0	0.9	0.9	3.6	6.3	2.7	
	染地・杉森・布田 (n=92)	76.1	63.0	14.1	64.1	3.3	3.3	5.4	8.7	13.0	4.3	8.7	0.0	4.3	0.0	1.1	2.2	0.0	
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	67.5	48.7	7.7	63.2	1.7	0.0	3.4	6.0	7.7	0.9	1.7	0.0	1.7	0.0	0.9	6.8	0.0	
第三・石原・飛田給 (n=120)	65.8	61.7	7.5	56.7	0.0	0.8	6.7	10.0	19.2	2.5	4.2	0.8	0.8	0.0	0.8	4.2	0.0		
家族構成別	ひとり暮らし (n=140)	2.1	66.4	8.6	63.6	0.7	2.1	6.4	11.4	12.1	2.9	8.6	0.0	0.7	0.7	0.7	9.3	3.6	
	その他 (n=668)	79.3	54.9	9.4	58.4	1.8	0.9	5.2	12.1	12.3	1.5	4.3	0.1	2.5	0.1	1.3	3.9	1.6	

問 22 現在、あなた自身やご家族は、どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えていますか。(1つに○)

- どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えているかは、「はい(8.1%)」, 「いいえ(89.2%)」である。

図表_市民/どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとの有無(全体)

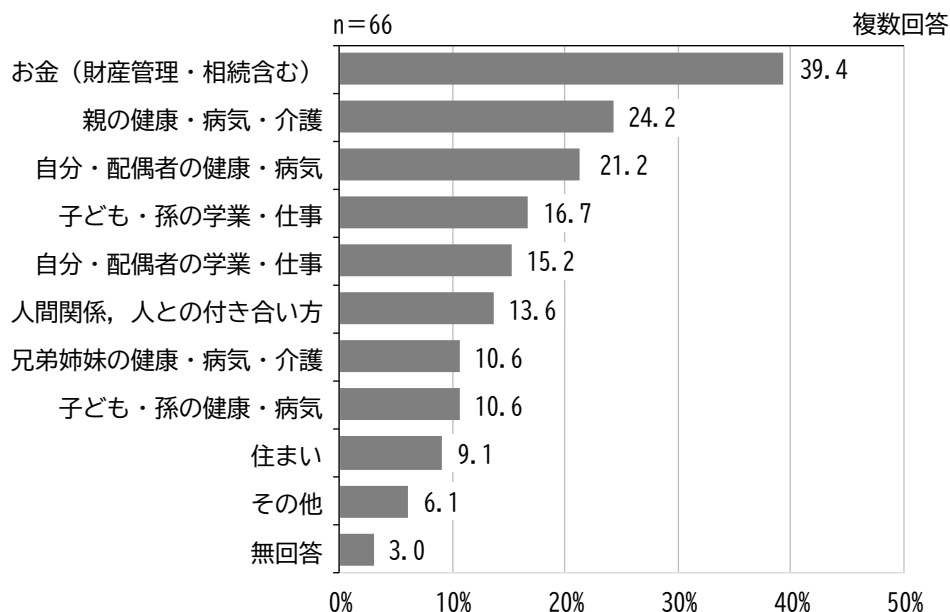


付問 問 22 で「1 はい」と答えた方におたずねします。差し支えなければ、お困りの内容をお聞かせください。(いくつでも○)

- どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとを抱えている人に、困りごとの内容についてたずねたところ、「お金(財産管理・相続含む)(39.4%)」が最も多く、「親の健康・病気・介護(24.2%)」, 「自分・配偶者の健康・病気(21.2%)」が続いている。

図表_市民/どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとの内容(全体)

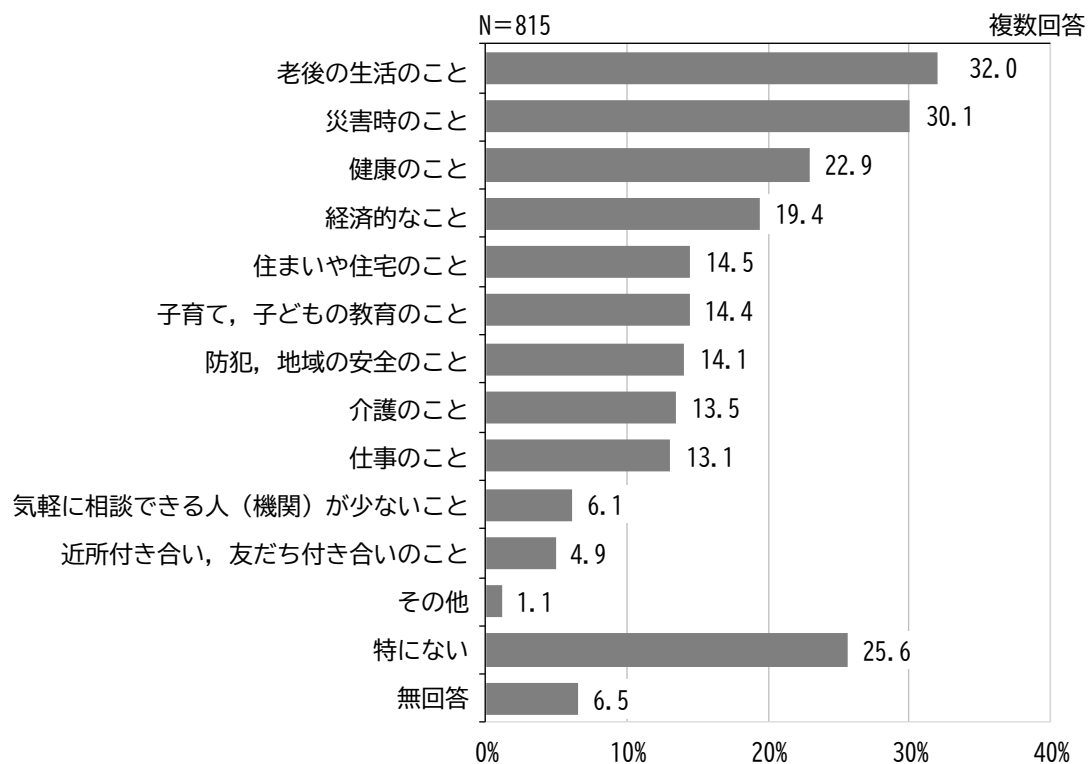
<どこに相談すればいいかわからない生活上の困りごとで「はい」と回答した人>



問 23 あなたは、身近な地域の中で不安や課題と感じていることはありますか。(いくつかつでも○)

- 地域の暮らしの中での不安や課題は、「老後の生活のこと(32.0%)」が最も多く、「災害時のこと(30.1%)」、「特にない(25.6%)」、「健康のこと(22.9%)」が続いている。

図表_市民/地域の暮らしの中での不安や課題(全体)



【回答者属性分析】

- 地域の暮らしの中での不安や課題の割合を性・年代別にみると、「特にない」を除くと、男性は、18～29歳で「経済的なこと」、30～49歳で「子育て、子どもの教育のこと」、50～69歳、70歳以上で「老後の生活のこと」が最も多くなっている。女性は、30～49歳で「子育て、子どもの教育のこと」、50～69歳で「老後の生活のこと」、70歳以上で「健康のこと」が最も多くなっている。18～29歳で「老後の生活のこと」、「経済的なこと」、「災害時のこと」が同率の数値となっている。
- 福祉圏域別にみると、染地・杉森・布田小学校地域、第一・富士見台・多摩川小学校地域で「災害時のこと」、それ以外の地域で「老後の生活のこと」が最も多くなっている。

図表_市民/地域の暮らしの中での不安や課題（性・年代別、福祉圏域別）（%）

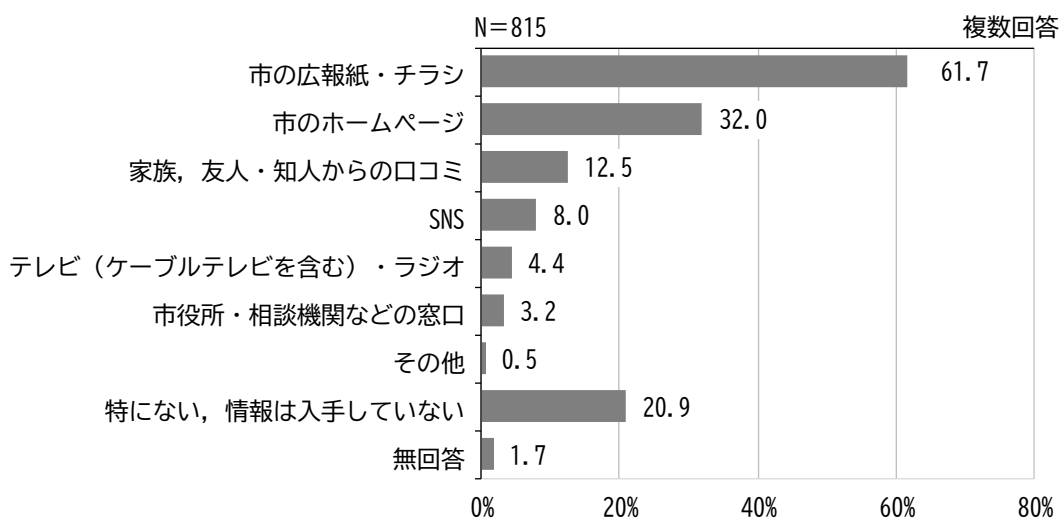
		子育て、子どもの教育のこと	健康のこと	介護のこと	老後の生活のこと	住まいや住宅のこと	仕事のこと	経済的なこと	近所付き合い、友だち付き合いのこと	防犯、地域の安全のこと	災害時のこと	気軽に相談できる人（機関）が少ないこと	その他	特にない	無回答	
全体 (N=815)		14.4	22.9	13.5	32.0	14.5	13.1	19.4	4.9	14.1	30.1	6.1	1.1	25.6	6.5	
性・年代別	男性	各項目1位に網掛														
	18～29歳 (n=26)	7.7	15.4	3.8	3.8	3.8	23.1	30.8	3.8	11.5	26.9	0.0	3.8	46.2	0.0	
	30～49歳 (n=104)	30.8	24.0	11.5	26.0	23.1	20.2	23.1	3.8	10.6	28.8	5.8	0.0	25.0	3.8	
	50～69歳 (n=134)	6.7	24.6	18.7	41.0	14.2	14.9	20.1	3.0	15.7	29.1	5.2	2.2	23.1	3.7	
	70歳以上 (n=89)	2.2	29.2	16.9	34.8	11.2	5.6	14.6	5.6	12.4	29.2	10.1	1.1	27.0	6.7	
	女性	各項目1位に網掛														
	18～29歳 (n=25)	12.0	16.0	16.0	28.0	20.0	20.0	28.0	0.0	20.0	28.0	0.0	0.0	28.0	4.0	
	30～49歳 (n=144)	38.2	20.1	11.8	30.6	12.5	18.8	22.9	11.1	14.6	34.0	6.3	0.7	20.1	4.2	
50～69歳 (n=161)	6.2	14.9	14.9	39.1	16.1	11.8	18.0	4.3	14.9	31.1	5.6	1.9	26.7	7.5		
70歳以上 (n=105)	0.0	30.5	7.6	25.7	10.5	1.0	9.5	1.9	12.4	28.6	8.6	0.0	30.5	13.3		
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	16.7	18.6	10.8	27.5	14.7	12.7	16.7	3.9	10.8	22.5	9.8	2.0	25.5	6.9	
	若葉・調和 (n=98)	14.3	21.4	15.3	35.7	19.4	15.3	28.6	7.1	21.4	32.7	11.2	1.0	22.4	5.1	
	上ノ原・柏野 (n=73)	20.5	27.4	21.9	43.8	15.1	17.8	26.0	5.5	13.7	31.5	1.4	1.4	21.9	5.5	
	北ノ台・深大寺 (n=87)	11.5	28.7	16.1	32.2	16.1	8.0	13.8	4.6	10.3	28.7	3.4	0.0	20.7	9.2	
	第二・八雲台・国領 (n=112)	10.7	28.6	13.4	33.0	17.9	16.1	19.6	1.8	15.2	30.4	5.4	0.9	25.9	9.8	
	染地・杉森・布田 (n=92)	10.9	21.7	9.8	27.2	10.9	10.9	14.1	3.3	9.8	32.6	2.2	1.1	30.4	3.3	
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	14.5	24.8	12.8	26.5	12.0	19.7	20.5	7.7	15.4	33.3	6.8	1.7	27.4	8.5	
	第三・石原・飛田給 (n=120)	16.7	15.8	10.0	35.8	12.5	6.7	19.2	5.0	15.8	31.7	6.7	0.8	29.2	1.7	

5 デジタルの活用についておたずねします

問 24 調布市の保健福祉施策（サービス）に関する情報をどこから入手していますか。（いくつでも○）

- 保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手先は、「市の広報紙・チラシ（61.7%）」が最も多く、「市のホームページ（32.0%）」，「特にない，情報は入手していない（20.9%）」が続いている。

図表_市民／保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手先（全体）



【回答者属性分析】

- 保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手先の割合を性・年代別にみると、男性・18～29歳を除いた区分で「市の広報紙・チラシ」が最も多くなっている。男性・18～29歳は「特にない、情報は入手していない」が最も多く、「市の広報誌・チラシ」と「SNS」が続いている。このうち、「SNS」は他の性・年代別よりも多く、2割を超えている。

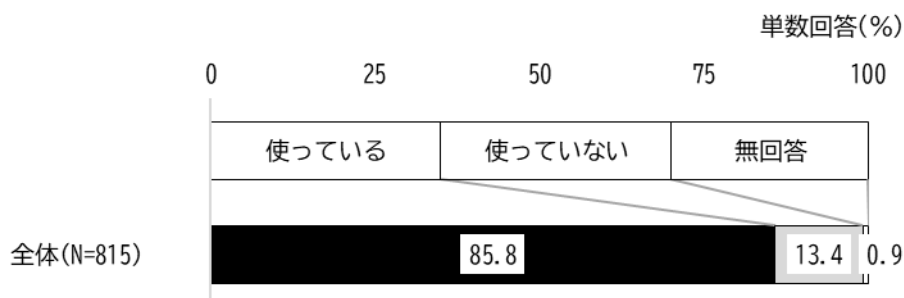
図表_市民／保健福祉施策（サービス）に関する情報の入手先（性・年代別）（%）

各項目1位に網掛			市のホームページ	市の広報紙・チラシ	市役所・相談機関などの窓口	テレビ（ケーブルテレビを含む） ラジオ	家族、友人・知人からの口コミ	SNS	その他	特にない、情報は入手していない	無回答
全 体 (N=815)			32.0	61.7	3.2	4.4	12.5	8.0	0.5	20.9	1.7
性・年代別	男性	18～29歳 (n=26)	19.2	23.1	3.8	3.8	11.5	23.1	0.0	53.8	0.0
		30～49歳 (n=104)	29.8	39.4	1.9	3.8	6.7	9.6	0.0	37.5	1.0
		50～69歳 (n=134)	43.3	67.2	0.7	6.7	7.5	3.0	0.0	16.4	0.0
		70歳以上 (n=89)	20.2	57.3	4.5	7.9	13.5	0.0	1.1	21.3	6.7
	女性	18～29歳 (n=25)	28.0	40.0	4.0	0.0	16.0	8.0	0.0	36.0	0.0
		30～49歳 (n=144)	38.9	62.5	5.6	1.4	10.4	18.1	2.1	16.7	0.0
		50～69歳 (n=161)	41.6	75.2	3.1	2.5	14.9	9.3	0.0	13.7	0.0
		70歳以上 (n=105)	12.4	75.2	3.8	8.6	23.8	1.0	0.0	12.4	4.8

問 25 普段、スマートフォンなどの情報端末やパソコンを使っていますか。(1つに○)

- スマートフォンなどの情報端末やパソコンの使用状況は、「使っている (85.8%)」, 「使っていない (13.4%)」である。

図表_市民/スマートフォンなどの情報端末やパソコンの使用状況 (全体)



【回答者属性分析】

- スマートフォンなどの情報端末やパソコンの使用状況の割合を性別にみると、男性、女性、回答しないとも「使っている」が最も多くなっている。
- 年代別にみると、80歳以上で「使っていない」、それ以外の年代では「使っている」が最も多くなっている。また、10歳代から60歳代までは「使っている」が9割を超えている。

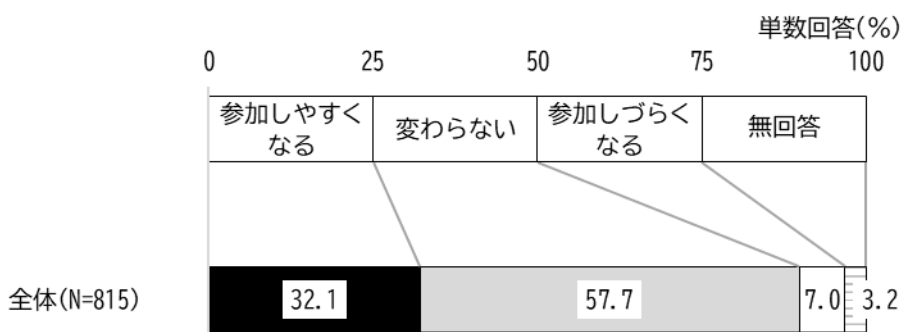
図表_市民/スマートフォンなどの情報端末やパソコンの使用状況 (性別, 年代別) (%)

各項目1位に網掛		使っている	使っていない	無回答
全	体 (N=815)	85.8	13.4	0.9
性別	男性 (n=353)	88.1	11.0	0.8
	女性 (n=435)	84.4	15.2	0.5
	回答しない (n=14)	92.9	7.1	0.0
年代別	10歳代 (n=9)	100.0	0.0	0.0
	20歳代 (n=44)	100.0	0.0	0.0
	30歳代 (n=115)	99.1	0.9	0.0
	40歳代 (n=138)	98.6	0.7	0.7
	50歳代 (n=167)	94.6	5.4	0.0
	60歳代 (n=136)	91.2	8.8	0.0
	70歳代 (n=117)	69.2	29.1	1.7
	80歳以上 (n=78)	33.3	64.1	2.6

問 26 市や社会福祉協議会の講座やイベントがオンライン開催（インターネットを介して参加する方法）されたら、参加しやすくなりますか。（1つに○）

- 市や社会福祉協議会の講座やイベントのオンライン開催の参加しやすさは、「変わらない（57.7%）」が最も多く、「参加しやすくなる（32.1%）」、「参加しづらくなる（7.0%）」が続いている。

図表_市民/市や社会福祉協議会の講座やイベントのオンライン開催の参加しやすさ（全体）



【回答者属性分析】

- 市や社会福祉協議会の講座やイベントのオンライン開催の参加しやすさの割合を性別にみると、男性、女性、回答しないとも、「変わらない」が最も多くなっている。また、「参加しやすくなる」はいずれも3割を超えている。
- 年代別にみると、すべての年代で「変わらない」が最も多くなっている。また、20歳代から40歳代までは「参加しやすくなる」が4割を超えている。一方で、「参加しづらくなる」が70歳代で1割強、80歳代で2割強となっている。

図表_市民/市や社会福祉協議会の講座やイベントのオンライン開催の参加しやすさ（性別、年代別）（%）

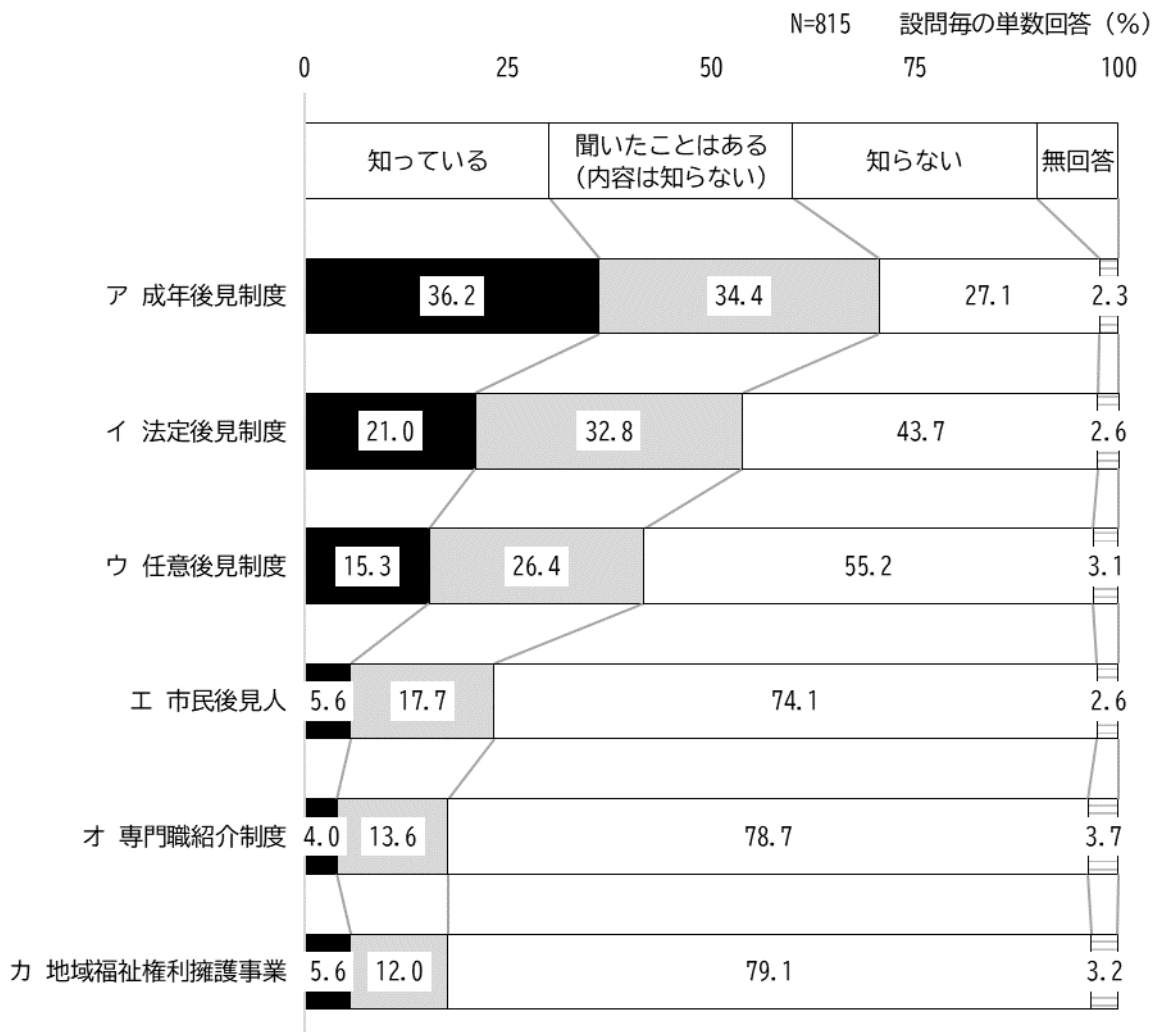
各項目1位に網掛		参加しやすくなる	変わらない	参加しづらくなる	無回答
全	体 (N=815)	32.1	57.7	7.0	3.2
性別	男性 (n=353)	33.4	57.8	4.8	4.0
	女性 (n=435)	31.3	57.5	9.0	2.3
	回答しない (n=14)	42.9	50.0	7.1	0.0
年代別	10歳代 (n=9)	22.2	77.8	0.0	0.0
	20歳代 (n=44)	43.2	54.5	2.3	0.0
	30歳代 (n=115)	47.0	50.4	2.6	0.0
	40歳代 (n=138)	42.0	54.3	2.9	0.7
	50歳代 (n=167)	35.3	61.7	3.0	0.0
	60歳代 (n=136)	28.7	64.7	6.6	0.0
	70歳代 (n=117)	20.5	59.0	14.5	6.0
	80歳以上 (n=78)	6.4	50.0	23.1	20.5

6 市民の権利を守る取組についておたずねします

問 27 市や社会福祉協議会等で行っている下記の制度や事業をご存知ですか。（それぞれ1つに○）

- 市や社会福祉協議会等で行っている市民の権利を守る制度や事業について、「知っている」の割合は、『成年後見制度（36.2%）』が最も多く、『法定後見制度（21.0%）』，『任意後見制度（15.3%）』が続いている。

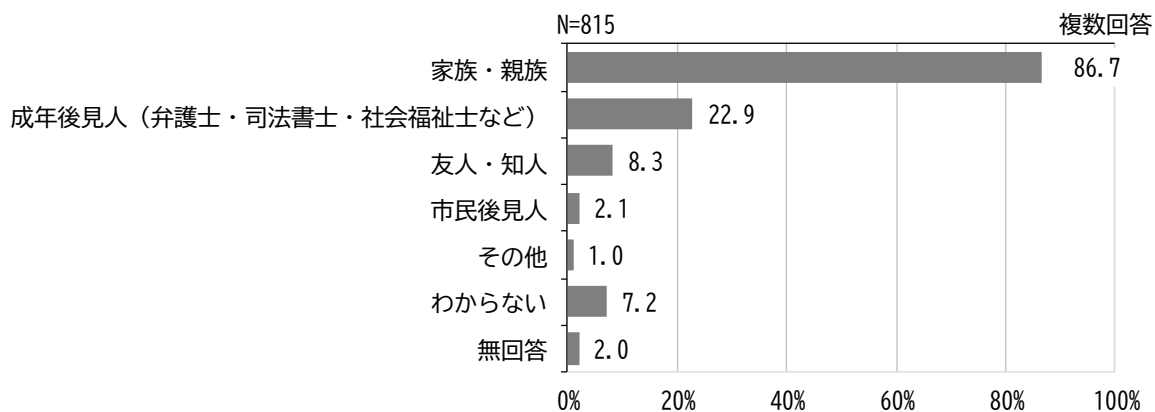
図表_市民/市や社会福祉協議会等で行っている市民の権利を守る制度や事業（全体）



問 28 ご自身の判断能力が低下し、財産の管理や身の回りの手続きなどに支援が必要となった場合、誰に支援をしてほしいですか。（2つまで○）

- 財産の管理や身の回りの手続きなどが必要となった場合の支援者は、「家族・親族（86.7%）」が最も多く、「成年後見人（弁護士・司法書士・社会福祉士など）（22.9%）」が続いている。

図表_市民/財産の管理や身の回りの手続きなどが必要となった場合の支援者（全体）

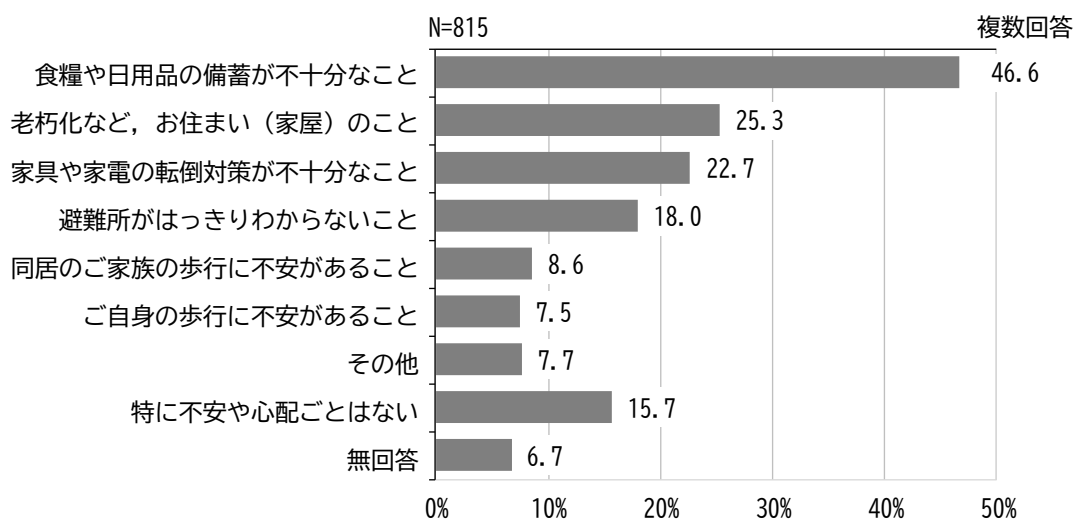


7 誰もが暮らしやすいまちづくりについておたずねします

問 29 災害時についての不安や心配ごとはありますか。(いくつでも○)

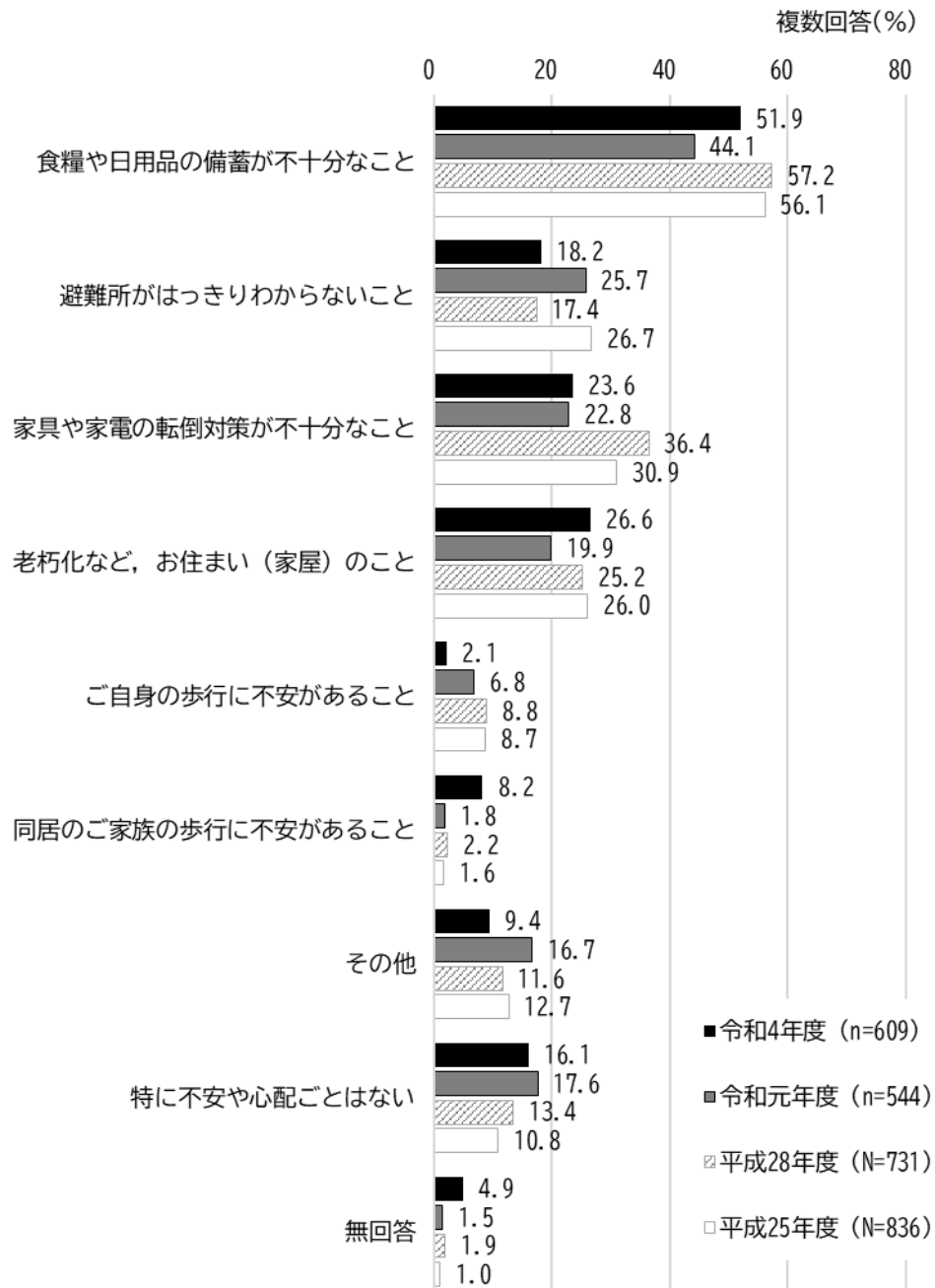
- 災害時についての不安や心配ごとは、「食糧や日用品の備蓄が不十分なこと(46.6%)」が最も多く、「老朽化など、お住まい(家屋)のこと(25.3%)」、「家具や家電の転倒対策が不十分なこと(22.7%)」が続いている。

図表_市民/災害時についての不安や心配ごと(全体)



- 経年で比較すると、令和4年度も平成25年度、平成28年度、令和元年度と同様に「食糧や日用品の備蓄が不十分なこと」が最も多くなっている。
- また、令和元年度は「避難所がはっきり分からないこと」が2番目に多かったが、今回は「老朽化など、お住まい（家屋）のこと」が2番目に多くなっている。

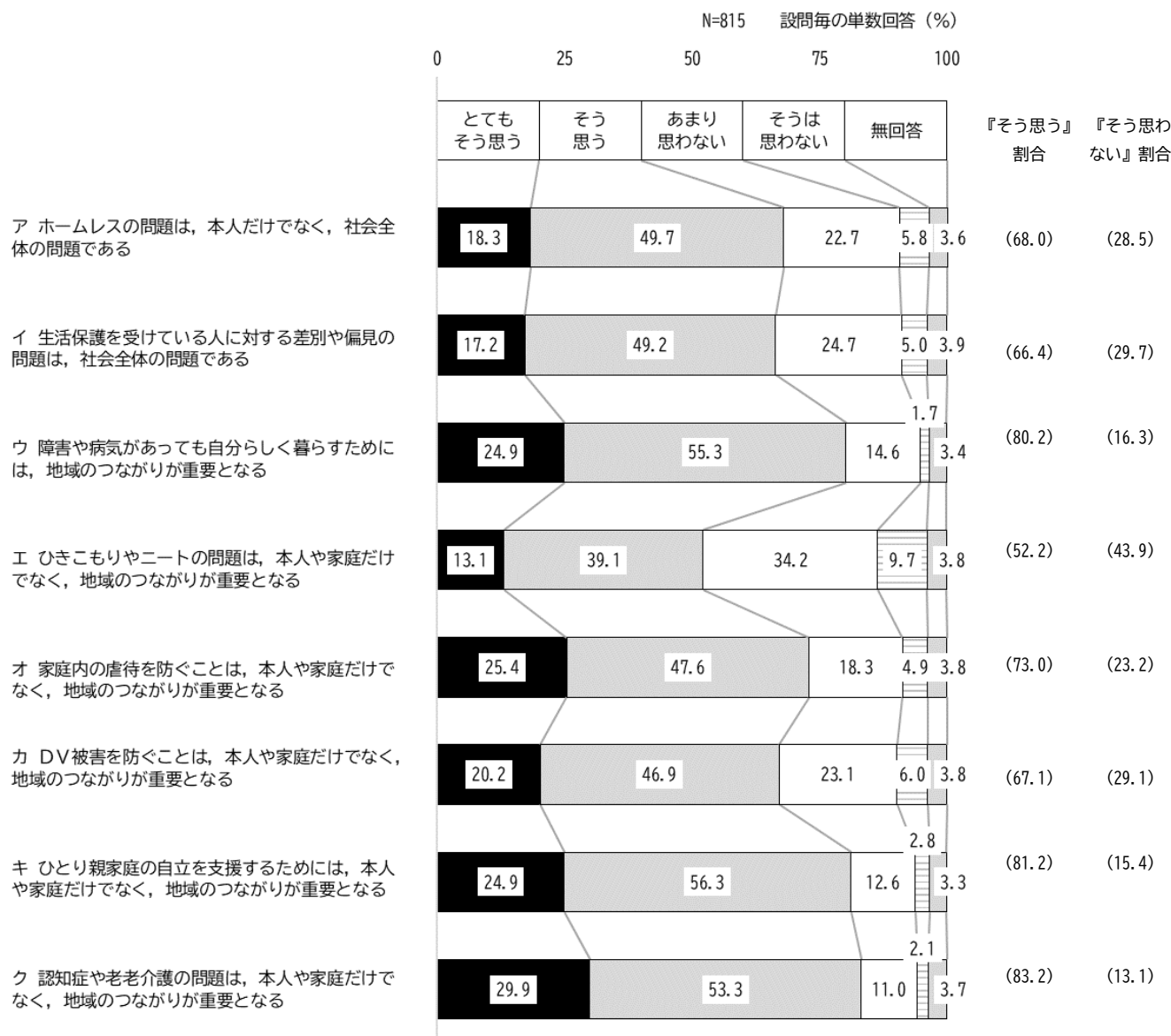
図表_市民/災害時についての不安や心配ごと（全体）【経年比較】



問 30 地域のつながりに対する考え方について、あなたはどのように思いますか。（それぞれ1つに○）

- 地域のつながりに対する考え方について、「とてもそう思う」と「そう思う」を合わせた『そう思う』の割合は、『認知症や老老介護の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる（83.2%）』が最も多く、『ひとり親家庭の自立を支援するためには、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる（81.2%）』、『障害や病気があっても自分らしく暮らすためには、地域のつながりが重要となる（80.2%）』と続いている。
- 一方、「あまり思わない」と「そうは思わない」を合わせた『そう思わない』の割合は、『ひきこもりやニートの問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる（43.9%）』が最も多くなっている。

図表_市民/地域のつながりに対する考え方（全体）



- 経年で比較する（今回調査の新規設問を除く）と、『ホームレスの問題は、本人だけでなく、社会全体の問題である』と『ひとり親家庭の自立を支援するためには、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる』について、今回の『そう思う』※1 割合がこれまでで最も多くなっている。
- 一方、『家庭内の虐待を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる』と『DV被害を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる』について、今回の『そう思わない』※2 割合がこれまでで最も多くなっている。

※1 「とてもそう思う」と「そう思う」の合計

※2 「あまり思わない」と「そうは思わない」の合計

図表 市民／地域のつながりに対する考え方（全体）【経年比較】（％）

各項目1位に網掛	調査年度	とても そう思う	そう 思う	あまり 思わない	そうは 思わない	無回答	『そう思う』 割合	『そう思わな い』割合
ホームレスの問題は、本人だけでなく社会全体の問題である	令和4年度（n=609）	18.6	50.2	25.0	5.3	1.0	68.8	30.3
	令和元年度（n=544）	15.3	42.4	33.3	7.5	1.5	57.7	40.8
	平成28年度（N=731）	14.8	43.8	30.9	7.0	3.6	58.6	37.9
	平成25年度（N=836）	16.0	48.9	26.1	5.9	3.1	64.9	32.0
ひきこもりやニートの問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	令和4年度（n=609）	14.1	37.6	36.6	10.7	1.0	51.7	47.3
	令和元年度（n=544）	14.0	42.0	33.1	9.4	1.5	56.0	42.5
	平成28年度（N=731）	10.0	36.9	39.1	9.7	4.2	46.9	48.8
	平成25年度（N=836）	9.2	42.7	34.6	10.2	3.3	51.9	44.8
家庭内の虐待を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	令和4年度（n=609）	28.1	47.5	18.4	4.6	1.5	75.6	23.0
	令和元年度（n=544）	38.8	50.6	7.5	1.8	1.3	89.4	9.3
	平成28年度（N=731）	27.6	57.6	9.0	1.9	3.8	85.2	10.9
	平成25年度（N=836）	31.9	55.7	7.8	1.1	3.5	87.6	8.9
DV被害を防ぐことは、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	令和4年度（n=609）	22.5	47.3	22.8	6.2	1.1	69.8	29.0
	令和元年度（n=544）	27.0	53.5	15.1	3.3	1.1	80.5	18.4
	平成28年度（N=731）	19.3	52.0	21.1	3.3	4.4	71.3	24.4
	平成25年度（N=836）	23.8	54.8	16.1	1.7	3.6	78.6	17.8
ひとり親家庭の自立を支援するためには、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	令和4年度（n=609）	27.4	54.8	14.0	2.8	1.0	82.2	16.8
	令和元年度（n=544）	22.8	59.2	14.5	2.0	1.5	82.0	16.5
	平成28年度（N=731）	19.2	58.8	15.2	2.9	4.0	78.0	18.1
	平成25年度（N=836）	19.4	60.2	14.5	2.0	3.9	79.6	16.5
認知症や老老介護の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる	令和4年度（n=609）	32.3	53.0	11.3	2.0	1.3	85.3	13.3
	令和元年度（n=544）	27.2	58.9	10.1	2.9	0.9	86.1	13.0
	平成28年度（N=731）	21.6	62.2	11.2	1.4	3.6	83.8	12.6

※『認知症や老老介護の問題は、本人や家庭だけでなく、地域のつながりが重要となる』は平成25年度調査なし

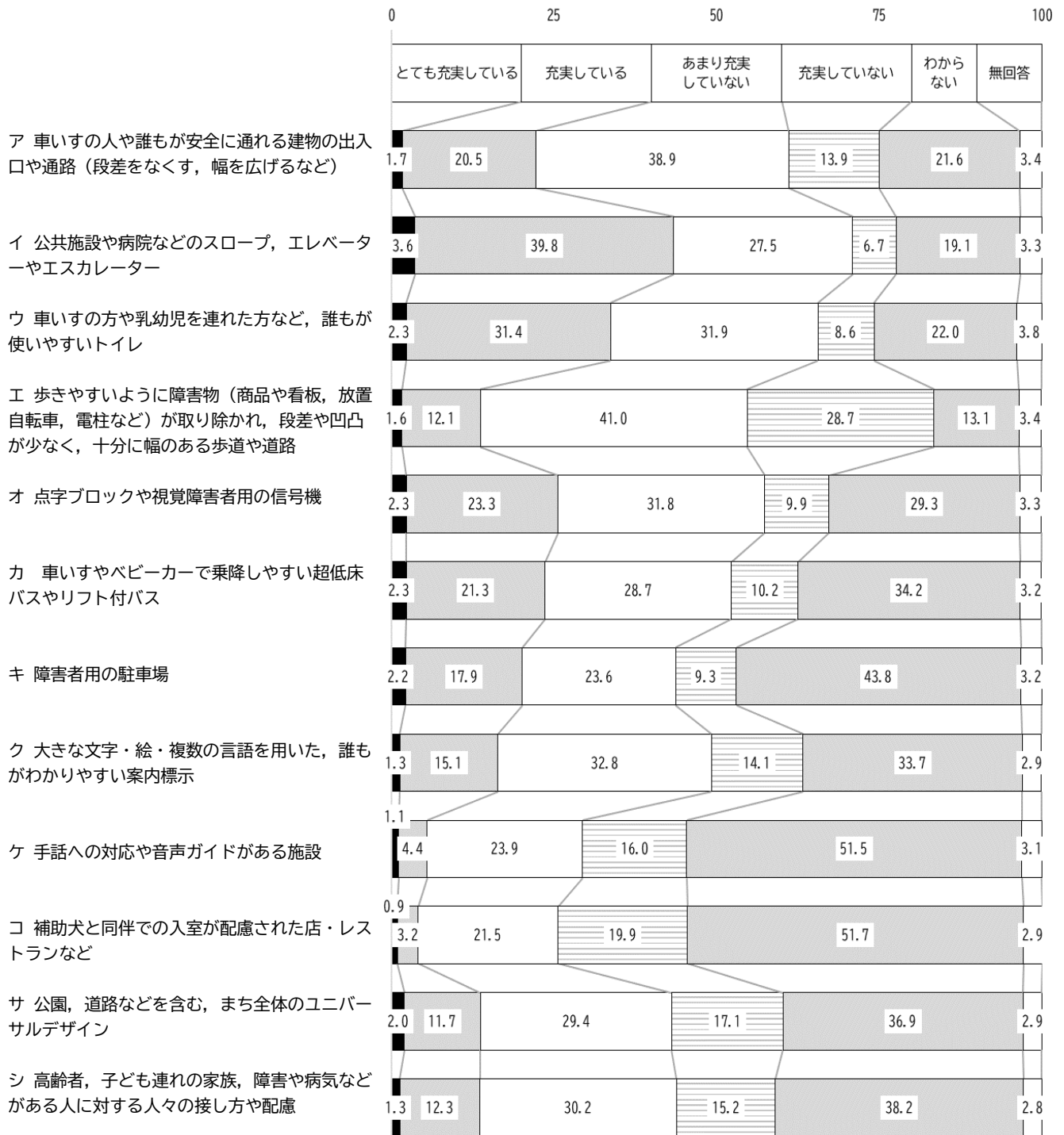
問31 市内のバリアフリーについて、どのように感じていますか。(それぞれ1つに○)

- 市内のバリアフリー化の状況について、「とても充実している」と「充実している」を合わせた『充実している』の割合は、『公共施設や病院などのスロープ、エレベーターやエスカレーター（43.4%）』が最も多く、『車いすの方や乳幼児を連れた方など、誰もが使いやすいトイレ（33.7%）』が続いている。
- 一方、「あまり充実していない」と「充実していない」を合わせた『充実していない』の割合は、『歩きやすいように障害物（商品や看板、放置自転車、電柱など）が取り除かれ、段差や凹凸が少なく、十分に幅のある歩道や道路（69.7%）』が最も多く、『車いすの人や誰もが安全に通れる建物の出入口や通路（段差をなくす、幅を広げるなど）（52.8%）』と続いている。

(次ページの図表を参照)

図表_市民／市内のバリアフリー化の状況（全体）

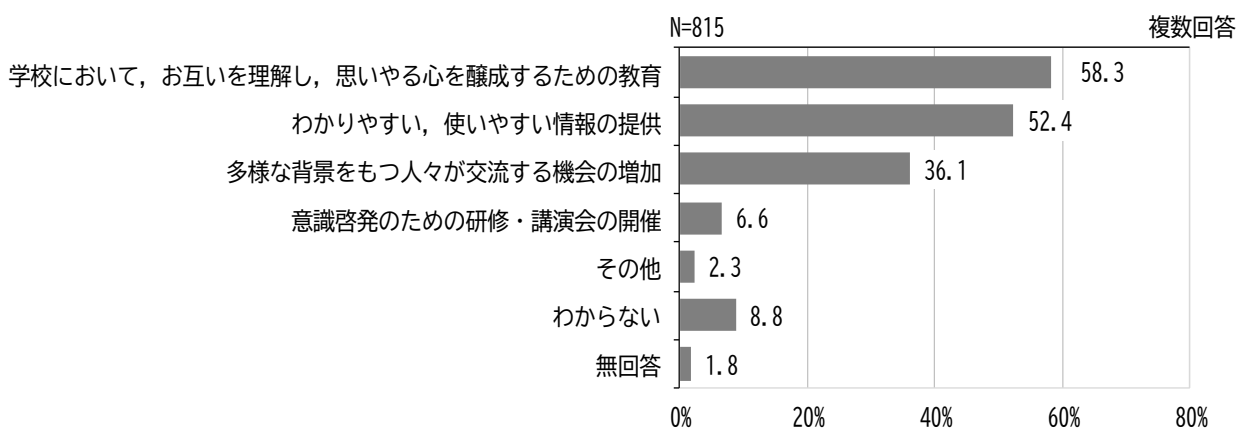
N=815 設問毎の単数回答（％）



問 32 誰もが暮らしやすいまちづくりに向けて、病気・障害・国籍・生活習慣などの違いによる心理的な障壁を取り除く（心のバリアフリー）ために、特に必要な取組は何だと思えますか。（2つまで○）

- 心のバリアフリー化に向けた取組は、「学校において、お互いを理解し、思いやる心を醸成するための教育（58.3%）」が最も多く、「わかりやすい、使いやすい情報の提供（52.4%）」，「多様な背景をもつ人々が交流する機会の増加（36.1%）」が続いている。

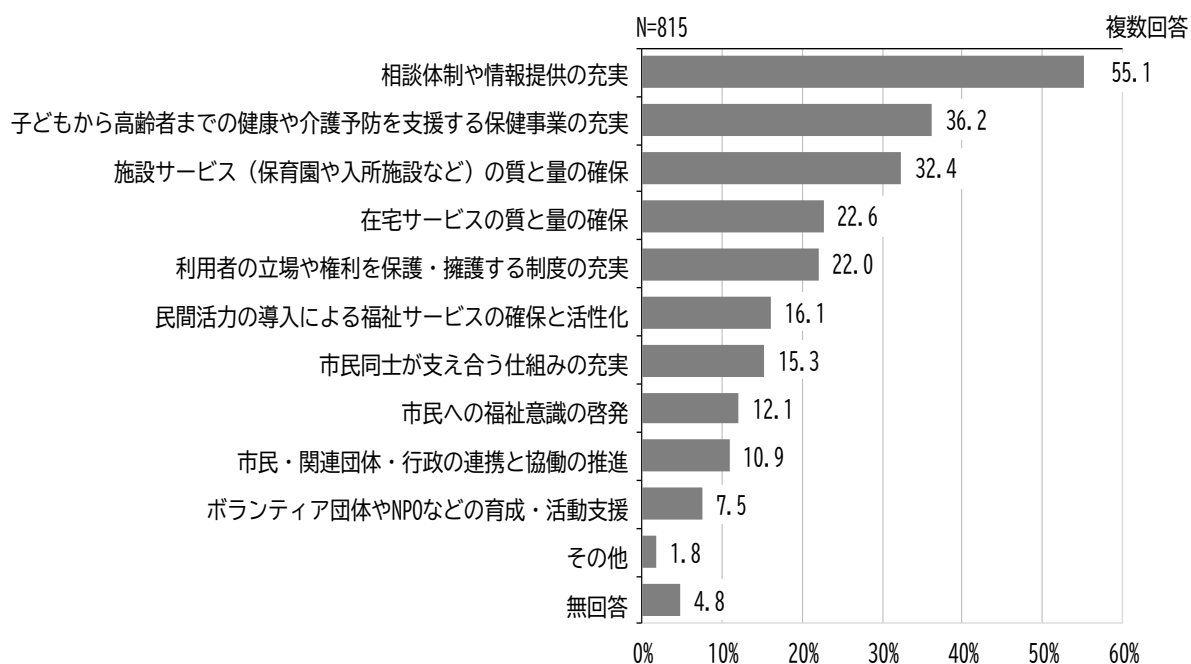
図表_市民/心のバリアフリー化に向けた取組（全体）



問 33 調布市の保健福祉施策（サービス）をより充実していくために、特に重要と考える取組は何ですか。（3 つまで○）

- 市の保健福祉施策（サービス）において重要な取組は、「相談体制や情報提供の充実（55.1%）」が最も多く、「子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実（36.2%）」、「施設サービス（保育園や入所施設など）の質と量の確保（32.4%）」が続いている。

図表_市民／市の保健福祉施策（サービス）において重要な取組（全体）



【回答者属性分析】

- 市の保健福祉施策（サービス）において重要な取組の割合を年代別にみると、20歳代から80歳以上で「相談体制や情報提供の充実」が最も多く、10歳代で「相談体制や情報提供の充実」と「子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実」が同率の数値となっている。
- 性・年代別にみると、女性・18～29歳で「子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実」、それ以外の区分で「相談体制や情報提供の充実」が最も多くなっている。
- 福祉圏域別にみると、すべての地域で「相談体制や情報提供の充実」が最も多くなっている。

図表 市民／市の保健福祉施策（サービス）において重要な取組（年代別、性・年代別、福祉圏域別）（％）

各項目1位に網掛		相談体制や情報提供の充実	利用者の立場や権利を保護・擁護する制度の充実	子どもから高齢者までの健康や介護予防を支援する保健事業の充実	在宅サービスの質と量の確保	施設サービスの質と量の確保	成・活動支援	ボランティア団体やNPOなどの育成	市民同士が支え合う仕組みの充実	民間活力の導入による福祉サービスの確保と活性化	市民・関連団体・行政の連携と協働の推進	市民への福祉意識の啓発	その他	無回答
全	体 (N=815)	55.1	22.0	36.2	22.6	32.4	7.5	15.3	16.1	10.9	12.1	1.8	4.8	
年代別	10歳代 (n=9)	55.6	22.2	55.6	0.0	44.4	22.2	11.1	22.2	11.1	11.1	0.0	0.0	
	20歳代 (n=44)	47.7	29.5	43.2	13.6	36.4	4.5	9.1	13.6	18.2	11.4	2.3	2.3	
	30歳代 (n=115)	53.0	20.0	37.4	18.3	45.2	11.3	12.2	18.3	9.6	7.0	1.7	6.1	
	40歳代 (n=138)	48.6	22.5	37.7	19.6	34.1	5.8	13.8	18.8	11.6	10.9	4.3	1.4	
	50歳代 (n=167)	61.1	19.8	29.3	21.0	25.1	7.2	18.6	14.4	10.8	13.8	1.8	4.2	
	60歳代 (n=136)	64.7	23.5	39.7	25.7	33.8	9.6	13.2	16.9	15.4	15.4	1.5	1.5	
	70歳代 (n=117)	58.1	17.1	35.0	31.6	27.4	5.1	21.4	13.7	7.7	17.1	0.0	3.4	
	80歳以上 (n=78)	42.3	26.9	34.6	26.9	29.5	6.4	15.4	14.1	6.4	7.7	1.3	17.9	
性・年代別	男性	18～29歳 (n=26)	57.7	30.8	38.5	15.4	30.8	7.7	7.7	19.2	19.2	15.4	3.8	3.8
		30～49歳 (n=104)	44.2	22.1	39.4	16.3	33.7	4.8	16.3	20.2	13.5	15.4	3.8	2.9
		50～69歳 (n=134)	64.2	20.9	32.8	23.9	23.9	7.5	18.7	11.9	13.4	14.2	0.7	3.0
		70歳以上 (n=89)	58.4	20.2	37.1	30.3	24.7	4.5	18.0	10.1	6.7	15.7	0.0	9.0
	女性	18～29歳 (n=25)	40.0	24.0	52.0	8.0	44.0	8.0	12.0	12.0	16.0	8.0	0.0	0.0
		30～49歳 (n=144)	53.5	20.8	35.4	21.5	43.1	10.4	11.1	16.7	8.3	4.9	2.8	4.2
		50～69歳 (n=161)	60.9	22.4	35.4	21.7	31.1	9.3	14.9	18.6	12.4	15.5	2.5	3.1
		70歳以上 (n=105)	45.7	21.0	32.4	28.6	31.4	6.7	19.0	17.1	7.6	11.4	1.0	9.5
福祉圏域別（小学校区）	緑ヶ丘・滝坂 (n=102)	57.8	24.5	38.2	24.5	28.4	6.9	15.7	13.7	9.8	19.6	0.0	2.9	
	若葉・調和 (n=98)	55.1	26.5	37.8	20.4	29.6	10.2	21.4	18.4	13.3	12.2	1.0	3.1	
	上ノ原・柏野 (n=73)	53.4	20.5	37.0	24.7	27.4	4.1	13.7	16.4	15.1	5.5	4.1	5.5	
	北ノ台・深大寺 (n=87)	57.5	24.1	31.0	20.7	35.6	3.4	10.3	9.2	10.3	13.8	2.3	2.3	
	第二・八雲台・国領 (n=112)	65.2	24.1	38.4	21.4	31.3	13.4	17.9	9.8	11.6	13.4	0.9	7.1	
	染地・杉森・布田 (n=92)	45.7	15.2	31.5	23.9	38.0	7.6	13.0	20.7	9.8	13.0	2.2	4.3	
	第一・富士見台・多摩川 (n=117)	56.4	22.2	36.8	19.7	33.3	3.4	15.4	16.2	9.4	10.3	3.4	5.1	
第三・石原・飛田給 (n=120)	50.8	16.7	37.5	25.0	35.8	10.0	13.3	23.3	10.8	9.2	1.7	5.8		

問 34 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組について、ご意見、ご提案をお聞かせください。（自由記述）

- 市民同士がお互いに支え合い、住み慣れたまちで誰もが安心して暮らすまちづくりの取組についてのご意見、ご提案を自由記述形式でたずねたところ、446 件の回答があった。以下に項目別の意見数を掲載する。

図表_市民／自由意見

項目	意見区分	意見数
ア 地域活動，市民同士の支え合い	①自治会活動の活性化 ②地域活動の活性化 ③地域活動の情報 ④近所のつながり ⑤声かけ	122
イ 相談，サービス	①市のサービス ②サービス等の情報提供 ③相談体制の充実	102
ウ 安全・安心	①交通安全 ②バリアフリー化 ③防災の強化 ④防犯の強化	117
エ 上記以外	①生活環境 ②市の施策 ③医療，福祉，子育て	105
合計		446

- 項目別に意見を抜粋して掲載する（原文通り）。

ア 地域活動，市民同士の支え合い

①自治会活動の活性化

- 自治会への加入。回覧板を渡す時近所の様子がわかる。会話ができる。（女性，60 歳代）
- 自治会などの弱体化は残念である。（男性，80 歳以上）
- 町内会の充実。（男性，70 歳代）

②地域活動の活性化

- コロナが終息したら，地域運動会，夏祭り等で交流を深めてほしい。（女性，70 歳代）
- 老若男女が，コミュニケーションできるイベント。（女性，20 歳代）

- むずかしいと思いますが気楽に集まれる場所（行けば誰か居て気楽に話せる、50 円位でコーヒー等飲む等、知り合いが増やせる場所等々）。（女性、70 歳代）

③地域活動の情報

- PRを充実させる。（男性、80 歳以上）
- 支援を求めている人に求められている活動情報が提供できる仕組みが身近になると良いと思うし、若者世代には SNS の発信，ご高齢の方へは新聞折込やポスト投函など。（女性、30 歳代）
- 活動内容の詳細な情報が欲しい。（女性、70 歳代）

④近所のつながり

- 昔に比べると、近所の人と話す機会は減っています。それぞれ忙しいし。それでも困ったときは少しでも手が借りられたり貸したりできる生活がいいですね。（女性、60 歳代）
- 隣近所での支え合いが、子供達にも高齢者にも必要だと思う。まずはご近所とのつながりが大事だと思う。（女性、60 歳代）
- 災害時の避難が困難な高齢者等の発見とその対策，例えば安否確認や避難所への同伴を担当するご近所さんをあらかじめ決めておき，市でもそれをきちんと把握していることが求められると思います。ただし，地域活動への参加に拒絶感を示す住民の方もいる訳で，そこは参加を強制してはならないこと，必ずしも義務ではないことは市としても周知・徹底する必要があります。（男性、20 歳代）

⑤声かけ

- 隣人の苗字さえ知らない時代に日本ではナイ気がして。昭和はこんなではナカッタ！挨拶から始めたいですネ。（女性、70 歳代）
- もっと声かけなどしたらいいと思う。（女性、70 歳代）
- 若い人に限らず，年寄りも挨拶しても返さない世の中です。支え合い以前の問題です。（女性、40 歳代）

イ 相談，サービス

①市のサービス

- 窓口が日々利用出来ること。困りごとが素直に伝えられる。（男性、70 歳代）
- 高齢者は 100m 歩くのも大変です。サービスは近くに窓口があれば。住宅の近くに。（女性、70 歳代）
- 居住空間の近くに相談やサービスを受け入れる場所が必要。（女性、60 歳代）

②サービス等の情報提供

- 市民が欲する情報を欲するタイミングで入手できるように、多様な情報発信を定期的に行うこと、加えて、利用しやすいよう LINE やメールなどの申し込み方法を提示する。ご高齢の方は、上記方法に加え、電話受付も手段で加えるなど。（女性、30 歳代）
- 色々なサービスが行われているようだが、その情報がなかなか届いていないのが残念だ。（女性、40 歳代）
- デジタル化がすすみ、高齢者にはわかりにくい（何かに参加したいと思っても申込みなどがネットだとわからない）。（女性、70 歳代）

③相談体制の充実

- 相談員の設置。（女性、20 歳代）
- 市役所での相談員（行政書士）による相談は、時間も限られ予約が必要だったり、24H 電話やチャットで相談できれば助かると思う。（女性、60 歳代）
- 相談を受ける方のスキルアップは必要だと思う。（女性、60 歳代）

ウ 安全・安心

①交通安全

- 車道・歩道の拡張（布田南通りは危ない）。街灯の増加。（女性、60 歳代）
- 歩道が狭い。特に商店街。自転車が通る場所も、もっと増やして欲しい。（男性、40 歳代）

②バリアフリー化

- 車イスを使っていたとき、道路の段差の多さ・ボコボコ穴には本当に困りました。住みやすい街にしてもらえるとうれしいです。（女性、30 歳代）
- 通学路で歩道が狭い所があるので改善してほしい。ベビーカーを押すと歩道の段差がけっこうあるなあと感じる。（女性、40 歳代）
- 認知症の人・老人が安全安心に生活できるように。道路と歩道の段差がある場所が多い。（女性、50 歳代）

③防災の強化

- 地震・水害（台風）から命を守るための知識を共有できるような情報を提供（分かりやすい情報）。（女性、70 歳代）
- 災害の時の為の安心安全も必要だけれども、日々の日常生活の小さな危険も大切だと思う。（女性、60 歳代）

④防犯の強化

- 駅から離れた地域は、戸建て住宅が多いので、夜になるととにかく人目が無く、出歩くのに不安がある。子供が習い事や塾で帰りが遅くなったりすると、不安で行かせられないと思ってしまうので、もっと深夜帯もパトロールを増やして欲しい。先日もどうしてもコンビニに夜遅く用事があり、外出したところ、明らかに不審な男性が後ろからついてきて怖かった。（女性、30歳代）
- 住宅が多いので、夜は静かな為、帰りが遅い日とかだと何か危険な状態に陥り、スマホも取り出せない時に、もっと近くに交番があると良いかなど。また、自転車に乗ってる方の運転が危険なので、何かしら規制を設けて欲しい。（男性、20歳代）
- 他の地域と比べて、警察のパトロールが少なく感じる。（男性、50歳代）

エ 上記以外

①生活環境

- 駅周りの歩きたばこ、たばこのポイ捨ての見回りを強化して欲しい。（男性、20歳代）
- ハトやネコにエサをあげる人をやめさせてほしい。近隣の高齢者に多い。また散歩途中にばらまく人がいる。朝と夕方が多い。（男性、30歳代）
- 野川(サイクリングロード)の草刈りをもっとしてほしい。トイレの場所を増やしてほしい。(川浴い)（女性、50歳代）

②市の施策

- 学校とふれあうイベントを作って欲しい。（男性、40歳代）
- 自分の身近な問題だと思わなければ、啓発の広告等も目に入りにくいと思う。今までのやり方で効果が薄いのなら、違う視点で気付きに結び付くようにしないと税金の無駄につながる。（女性、50歳代）

③医療、福祉、子育て

- お祭りやおみこしなど子供の頃から参加することで地域の大切さを意識する子育てをしていく。（男性、30歳代）
- 高齢者優先ではなく、子育て世帯へのケアを重視してほしい。（男性、30歳代）
- 子供に対する助成の充実（収入制限は不公平です）。調布市も23区のように子供の医療費無料化（200円）を一律お願いします。（女性、30歳代）